

昭和53年度第1～3四半期

事業進捗状況表

昭和54年1月

企画部

JICA
L000
36
PLP
LIBRARY

企画
79-1

国際協力事業団	
受入 月日 '86.11.04	L000
	36
登録No. 15591	PLP

本資料は、事業の計画的効率的執行をはかることを目的とし、各部門の連絡と緊密化するための資料として作成したもので、各事業の計画概要と53年度第1～3四半期事業の進捗状況を取りまとめたものである。

なお、実績は全て昭和53年4月1日より昭和53年12月31日まで、事業計画は昭和53年4月1日より昭和54年3月31日までの数字である。

JICA LIBRARY



1018652[6]

目 次

1. 研修員の受入	1	頁
2. 専門家の派遣	5	
3. 機材の供与	11	
4. 調査団の派遣	16	
5. 社会開発協力事業	30	
6. 保健医療協力事業	41	
7. 農林業開発協力事業	61	
8. 鉱工業開発協力事業	86	
9. 青年海外協力隊事業	94	
10. 人材養成確保事業	96	
11. 開発協力事業	99	
12. 移住事業	104	
13. 無償資金協力事業	116	

1. 研修員の受入

昭和53年度第1～3回半期研修員受入実績

(1) 受入総数

(単位 人)

	年間計画数		前年度からの 継続者	第3回半期迄の 当年度受入人数	計
	継続	新規			
集団	140	1,642	142	1,399	1,541
個別	15	159	45	197	242
特設	100	245	108	148	256
カウンターパート	95	404	140	311	451
国連・G G	6	150	6	164	170
合計	356	2,600	441	2,219	2,660

(2) 国別受入実績

(単位 人)

	年間 計画数	第1～3回半 期実績	内訳			年間 計画数	第1～3回半 期実績	内訳			
			個別	集団	継続			個別	集団	継続	
アジア地域	1,475	1,286	333	775	178	スリランカ	84	76	7	62	7
インド	55	49	5	36	8	タイ	217	205	79	106	20
インドネシア	238	227	80	114	53	モンゴール	4	2	2	0	0
大韓民国	146	91	31	29	31	モルディブ	4	1	0	1	0
ラオス	6	0	0	0	0	ブルネイ	1	0	0	0	0
マレーシア	123	116	33	71	12	ビルマ	90	57	6	38	13
ネパール	60	59	14	39	6	バングラディシュ	92	90	17	64	7
パキスタン	74	40	1	50	9	ブータン	8	3	1	2	0
フィリピン	190	184	41	118	25	香港	-	7	1	6	0
シンガポール	83	79	15	59	5						

(単位 人)

	年 間 計画数	第1-3回半 期実績	内 訳				年 間 計画数	第1-3回半 期実績	内 訳		
			個 別	集 団	継 続				個 別	集 団	継 続
中近東地域	527	393	80	259	54	アフリカ地域	248	179	47	100	50
アフガニスタン	57	43	4	32	7	中央アフリカ	1	0	0	0	0
アルジェリア	7	8	2	4	2	グ ホ メ	-	0	0	0	0
アラブ首長国連邦	13	3	0	3	0	エチオピア	18	7	2	5	0
バハレーン	1	0	0	0	0	ガ ボ ン	1	2	1	1	0
エジプト	83	81	18	51	12	上ホルタ	3	3	2	1	0
イ ラ ン	88	74	12	54	8	ガンビア	-	1	0	1	0
イ ラ ク	73	68	11	45	12	ガ ー ナ	26	18	11	7	0
ジョルダン	14	5	1	3	1	象牙海岸	7	3	0	3	0
クウェート	16	7	0	6	1	ケ ニ ア	34	27	10	12	5
リ ビ ア	14	2	0	1	1	マダガスカル	13	6	0	3	3
モ ロ ッ コ	6	3	0	3	0	マ ラ ウ イ	5	1	0	1	0
オ ー マ ン	3	0	0	0	0	マ リ	4	2	1	1	0
カタール	5	3	3	0	0	ナイジェリア	27	25	6	16	3
サウジアラビア	44	14	3	6	5	ビネガル	3	3	2	1	0
ス ー ダ ン	24	22	3	18	1	シエラレオーネ	2	1	0	1	0
シ リ ア	16	16	4	6	0	ソマリア	1	0	0	0	0
チュニジア	6	9	2	1	0	タンザニア	39	32	2	24	6
南イエメン	3	6	0	1	0	ウガンダ	18	14	3	10	1
北イエメン	3	2	1	1	1	ザ ー ー ル	13	10	1	4	5
ヨルダン	41	37	10	25	4	ザンビア	10	7	0	1	2
						モリシャス	2	3	0	1	0
						レソト	-	0	0	0	0

～	年 間 計画数	第1～3回半 期実績	内 訳			年 間 計画数	第1～3回半 期実績	内 訳			
			個 別	集 団	継 続			個 別	集 団	継 続	
スワジランド	1	1	0	1	0	パ ナ マ	13	11	1	10	0
ギ ニ ア	2	2	2	0	0	パ ラ グ ア イ	28	22	11	13	4
リ ベ リ ア	10	5	0	3	2	ペ ル -	66	50	12	27	11
ル ワ ン ダ	3	3	0	0	3	トリニダードトバゴ	5	2	0	2	0
ボ ツ ワ ナ	-	1	1	0	0	ウ ル グ ア イ	12	9	3	5	1
カメルーン	-	2	0	2	0	ヴェネズエラ	16	12	4	6	2
チ ヤ ド	-	2	0	2	0	ハイチ	1	0	0	0	0
中南米地域	673	527	186	240	161	バルバドス	2	1	0	0	1
アルゼンチン	31	35	11	18	6	グレナダ	1	2	0	0	0
ボ リ ビ ア	37	45	14	21	10	エルサルバドル	20	7	0	4	3
ブラジル	102	89	20	55	14	オセアニア地域	33	39	8	25	6
チ リ	30	21	9	9	3	フィジー	5	9	0	8	1
コロンビア	24	20	2	17	1	ナウル	2	0	0	0	0
コスタ・リカ	15	11	2	6	3	パプアニューギニア	16	17	2	11	4
キューバ	7	3	0	3	0	トング	5	3	1	2	0
ドミニカ	9	4	1	2	1	西サモア	5	4	0	4	0
エフアドル	16	14	4	6	4	ソロモン諸島	0	2	2	0	0
グアテマラ	22	12	4	3	5	パシフィックアイランズ	0	1	0	0	1
ガイアナ	1	0	0	0	0	ギバート・エリス諸島	0	3	3	0	0
ホンジュラス	13	13	8	5	0	その他地域	4	0	0	0	0
ジャマイカ	4	1	0	1	0	国連・G G	(150)	170	164	0	6
メキシコ	182	188	75	22	91	合 計	2,956	2,660	820	1,349	441
ニカラグア	11	9	3	5	1						

2. 専門家の派遣

(1) 派遣状況一覽

(単位 人)

地 域 名	(a)前年度よりの 継 続 者		(b)12月末までの 当年度派遣者累計		(a) + (b) 小 計		(c)12月末までの 当年度帰国者累計		(a) + (b) - (c) 12月末現在者 現 任 者		1月以降派遣 予 定 数	
	個 別	プロジェクト	個 別	プロジェクト	個 別	プロジェクト	個 別	プロジェクト	個 別	プロジェクト	個 別	プロジェクト
ア ジ ア 地 域	124	135	114	169	238	304	128	99	110	205	17	72
	259		283		542		227		315		89	
中 近 東 地 域	52	24	66	25	118	49	54	13	64	36	17	23
	76		91		167		67		100		40	
アフリカ地域	44	17	62	22	106	39	41	14	65	25	12	7
	61		84		145		55		90		19	
中 南 米 地 域	105	56	80	66	185	122	88	36	117	86	17	37
	161		146		307		124		203		54	
オセアニア地域	13	7	0	0	13	7	1	3	12	4	2	3
	20		0		20		4		16		5	
そ の 他 地 域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	0		0		0		0		0		3	
国 際 機 関	48	0	46	0	94	0	46	0	42	0	6	0
	48		46		94		46		42		6	
合 計	526	237	360	272	748	521	328	165	410	356	74	142
	625		644		1269		503		766		212	

2. 専門家の派遣

(2) 国別派遣実績

(単位 人)

	個別専門家				プロジェクト専門家			
	年間 計画数	第1-3四半期 実績	内 訳		年間 計画数	第1-3四半期 実績	内 訳	
			新規	継続			新規	継続
アジア地域	357	238	114	124	411	304	169	135
インド	3	1	-	1	-	-	-	-
インドネシア	118	90	40	50	113	82	48	34
大韓民国	27	22	20	2	27	16	14	2
ラオス	8	5	1	4	-	-	-	-
マレーシア	29	20	8	12	25	24	11	13
ネパール	10	5	1	2	24	23	11	12
パキスタン	13	10	2	8	8	-	-	-
フィリピン	43	28	13	15	73	45	18	27
シンガポール	17	9	2	7	1	-	-	-
スリランカ	7	3	2	1	10	9	6	3
タイ	61	39	21	18	91	58	28	30
モンゴル	-	-	-	-	-	-	-	-
モルディブ	7	3	1	2	-	-	-	-
ブルネイ	-	-	-	-	-	-	-	-
ビルマ	7	4	3	1	17	20	20	-
バングラデシュ	6	-	-	-	22	27	13	14
ブータン	1	1	-	1	-	-	-	-

(単位 人)

	個別専門家				プロジェクト専門家			
	年間 計画数	第1-3回半期 実績	内 訳		年間 計画数	第1-3回半期 実績	内 訳	
			新 規	継 続			新 規	継 続
中 近 東 地 域	134	118	66	52	88	49	25	24
アフガニスタン	16	9	-	9	22	8	4	4
アルジェリア	4	1	-	1	8	5	5	-
アラブ首長国連邦	8	10	5	5	-	-	-	-
バハレーン	-	-	-	-	-	-	-	-
エジプト	18	27	19	8	22	16	2	14
イラン	24	18	9	9	13	6	6	-
イラク	12	3	-	3	-	4	4	-
ジョルダン	-	-	-	-	-	-	-	-
クウェート	5	2	1	1	-	-	-	-
リビア	2	-	-	-	-	-	-	-
モロッコ	1	1	1	-	-	-	-	-
オーマン	-	-	-	-	-	-	-	-
カタール	4	6	6	-	-	-	-	-
サウジアラビア	13	16	10	6	5	-	-	-
スーダン	6	1	1	-	-	-	-	-
シリア	10	5	-	5	-	-	-	-
チュニジア	2	6	5	1	10	4	4	-
南イエメン	-	5	5	-	-	-	-	-
北イエメン	-	5	-	-	-	-	-	-
トルコ	7	7	5	2	2	6	2	6

(単位 人)

	個別専門家				プロジェクト専門家			
	年間 計画数	第1~3四半期 実績	内訳		年間 計画数	第1~3四半期 実績	内訳	
			新規	継続			新規	継続
アフリカ地域	127	106	62	44	56	39	22	17
中央アフリカ	-	-	-	-	-	-	-	-
ダホメ	-	-	-	-	-	-	-	-
エチオピア	3	2	-	2	-	-	-	-
ガボン	-	-	-	-	-	-	-	-
上ボルダ	3	-	-	-	-	-	-	-
ガーナ	5	1	-	1	26	16	3	8
象牙海岸	-	-	-	-	-	-	-	-
ケニア	19	20	10	10	8	8	4	4
マダガスカル	-	-	-	-	4	3	-	3
マラウイ	6	5	3	2	-	-	-	-
マリ	4	-	-	-	-	-	-	-
ナイジェリア	5	5	4	1	9	7	7	-
セネガル	5	3	3	-	-	-	-	-
シエラレオーネ	-	-	-	-	-	-	-	-
ソマリア	9	4	4	-	-	-	-	-
ガンビア	1	-	-	-	-	-	-	-
ニジェール	1	2	2	-	-	-	-	-

(単位 人)

	個別専門家				プロジェクト専門家			
	年間 計画数	第1-3回半期 実績	内訳		年間 計画数	第1-3回半期 実績	内訳	
			新規	継続			新規	継続
ボツワナ	-	3	3	-	-	-	-	-
タンザニア	12	17	9	8	9	5	3	2
ウガンダ	10	3	1	2	-	-	-	-
ガイール	26	18	6	12	-	-	-	-
ザンビア	1	1	1	-	-	-	-	-
モーリシウス	-	-	-	-	-	-	-	-
トゴ	-	-	-	-	-	-	-	-
ギニア	-	-	-	-	-	-	-	-
リベリア	9	14	12	2	-	-	-	-
ルワンダ	3	1	-	1	-	-	-	-
スワジランド	4	4	1	3	-	-	-	-
モリタニア	1	3	3	-	-	-	-	-
中南米地域	195	185	80	105	146	122	66	56
アルゼンチン	7	6	5	1	6	2	-	2
ボリビア	17	19	3	11	17	18	12	6
ブラジル	31	27	12	15	31	24	8	16
チリ	10	10	2	8	16	11	1	10
コロンビア	2	12	10	2	-	-	-	-
コスタ・リカ	1	6	3	3	6	3	2	1

(単位 人)

	個 別 専 門 家				プロジェクト専門家			
	年 間 計 画 数	第1~3回半期 実 績	内 訳		年 間 計 画 数	第1~3回半期 実 績	内 訳	
			新 規	継 続			新 規	継 続
キューバ	-	-	-	-	-	-	-	-
ドミニカ	2	-	-	-	-	-	-	-
エクアドル	3	2	2	3	2	2	2	-
グアテマラ	4	6	3	3	11	12	10	2
ガイアナ	1	-	-	-	-	-	-	-
ホンデュラス	6	2	-	2	-	-	-	-
ジャマイカ	-	-	-	-	-	-	-	-
メキシコ	26	24	2	12	-	-	-	-
ニカラグナ	3	4	-	4	-	-	-	-
パナマ	3	1	-	1	-	-	-	-
パラグアイ	2	13	2	5	12	2	6	1
ペルー	21	22	2	13	12	13	2	12
トリニダードトバゴ	2	2	-	2	-	-	-	-
ウルグアイ	3	3	2	1	2	16	16	-
ベネズエラ	16	11	6	5	1	-	-	-
ハイチ	-	-	-	-	-	-	-	-
バルバドス	2	-	-	-	-	-	-	-
グレナダ	2	-	-	-	-	-	-	-
エルサルバドル	2	2	-	2	-	-	-	-
スリナム	6	6	-	6	-	-	-	-

(単位 人)

	個別専門家				プロジェクト専門家			
	年間 計画数	第1~3回半期 実績	内訳		年間 計画数	第1~3回半期 実績	内訳	
			新規	継続			新規	継続
オセアニア地域	21	13	-	13	7	7	-	7
フィジー	10	6	-	6	-	-	-	-
ナウル	-	-	-	-	-	-	-	-
バプアニューギニア	3	2	-	2	-	-	-	-
トンガ	3	2	-	2	-	-	-	-
西サモア	5	6	-	3	-	-	-	-
ミクロネシア	-	-	-	-	7	7	-	7
その他	3	-	-	-	-	-	-	-
国際機関	106	88	40	48	-	-	-	-
合計	945	748	362	386	719	521	282	239

3. 機材の供与

実施済みのものは()にて示してある

国名 事 項 名	担当 部 名	実施計画 実施計画額	実施計画 協議時期	贈送請求 提出時期	契 約 時 期	船 積 材 実施時期	国名 事 項 名	担当 部 名	実施計画 実施計画額	実施計画 協議時期	贈送請求 提出時期	契 約 時 期	船 積 材 実施時期
		(円)	(月)	(月)	(月)	(月)			(円)	(月)	(月)	(月)	(月)
インドネシア		220,000					家畜衛生	農	58,000	(53.5)	(53.6)	(53.9)	54.1
バンダワラシユ		220,000					南スラウエシ 農業開発計画	"	27,000	(53.5)	(53.8)	(53.11)	(53.12)
一里三圃地機材	研	40,000	(53.7)	(53.8)	(53.10)	54.2	養 蚕	"	58,000	(53.5)	(53.8)	(53.10)	54.1
家族計画	医	25,000	(53.6)	(53.7)	(53.8)	(53.12)	ボゴール大学	"	51,000	(53.5)	(53.8)	(53.11)	54.2
"	"	37,000	(53.7)	(53.8)	(53.9)	54.1	農業研究	"	51,000	(53.5)	(53.8)	(53.10)	54.1
農業普及	農	47,000	(53.5)	(53.7)	(53.11)	54.3	ラボン農業開発	"	47,000	(53.5)	(53.8)	(53.10)	54.1
園芸研究	"	51,000	(53.5)	(53.8)	(53.8)	54.2	山岳林収獲技術	"	23,000	(53.4)	(53.5)	(53.6)	(1) 53.9 (2) 53.10
ビルマ		308,000					中堅技術者養成	"	27,000				
橋梁技術訓練センター	社	110,000					替 回		121,000				
養鶏養豚用機材	研	15,000	(53.7)	(53.8)	(53.11)	(53.12)	工学研究用機材	派	23,000	(53.7)	(53.10)	(53.10)	54.2
アライオン林業開発	農	100,000	(53.4)	(53.5)		(53.10)	中央大学校臨床 栄養研究センター	医	50,000	(53.5)	(53.6)	(53.7)	(53.10)
畜産開発	"	80,000	(53.5)	(53.6)	(53.8)	(1) 53.9 (2) 53.11	農業研究	農	51,000	(53.7)	(53.8)	(53.10)	54.1
インドネシア		656,644					マレーシア		128,000				
カニガ計測用機材	派	10,000	(53.7)	(53.8)	(53.10)	(53.12)	CPRAヨホルバル 取 業 訓練技	社	48,000	(53.5)	(53.8)	(53.10)	54.1
鉱物研究用機材	研	20,000	(53.5)	(53.8)		54.1	FIDAXセンター	鉱	10,000	(53.9)	(53.10)	(53.11)	(53.11)
中央生物医学研究所	医	30,000	(53.5)	(53.6)	(53.10)	54.1	稲作研究用機材	研	20,000	(53.5)	(53.7)	(53.9)	(53.12)
家族計画	"	21,920	(53.9)	(53.10)		54.1	水 管 理	農	50,000	(53.8)	(53.8)	(53.11)	54.1
"	"	37,000	(53.6)	(53.7)	(53.9)	(53.12)	ネパール		115,000				
東スラバワ保健機	"	22,724	(53.6)	(53.7)	(53.10)	(53.11) 54.3	ジャナカプール	農	63,000	(53.7)	(53.8)	(53.12)	54.1
"	"	40,000	(53.6)	(53.7)	(53.10)	(53.11)	西部地域保健センター	医	40,000	(53.6)	(53.7)	(53.9)	(53.10) 54.2
畜 産	"	37,000					地質調査用機材	派	10,000	(53.7)	(53.8)		54.1

研：研究事業部 派：派遣事業部 社：社会開発事業部 農：農林業関係3部 鉱：鉱工業関係2部 医：医療協力部

国名	事項名	担当 部名	実施計画額 (千円)	実施計画 協議時期 (月)	贈送請求書 提出時期 (月)	契 約 時 期 (月)	前 積 金 実施時期 (月)	国名	事項名	担当 部名	実施計画額 (千円)	実施計画 協議時期 (月)	贈送請求書 提出時期 (月)	契 約 時 期 (月)	前 積 金 実施時期 (月)
	バキスタン		30,000						家庭産業振興センター	鉉	10,000	(53.5)	(53.7)	(53.10)	54.2
	電気通信機材	研	30,000	(53.7)	(53.8)	(53.9)	54.3		高地農業開発機材	派	20,000	(53.5)	(53.7)		(53.12)
	フィリピン		709,000						婦科治療用機材	研	2,000	(53.5)	(53.7)	(53.8)	(53.9)
	道路交通訓練センター	社	240,000	(53.4)	(53.5)	(53.9)	54.3		地域保健活動 向上計画	医	50,000	(53.6)	(53.7)	(53.8)	(53.10)
	農業研究開発センター	鉉	70,000	(53.6)	(53.7)	(53.8)	(53.11)		家族計画	医	51,004	(53.7)	(53.8)		(53.12)
	道路通線用機材	派	15,000	(53.5)	(53.6)	(53.8)	(53.10)		バンコック保健省 婦科ユニット他	医	15,000	-	-	-	-
	家族計画	医	30,000	(53.7)	(53.8)		54.1		地域保健活動 向上計画	・	22,724	(53.6)	(53.7)	(53.10)	54.3
	住血吸虫症研究対策	・	20,000	(53.5)	(53.6)		54.1		がんセンター	・	20,000	(53.6)	(53.7)	(53.8)	(53.10)
	カガヤン農業開発	農	66,000	(53.5)	(53.9)		(53.12)		看 護	・	30,000	-	-	-	-
	バンタワンガン 森 林 植 成	・	117,000	(53.4)	(53.5)	(53.9)	(53.12)		家族計画	・	40,000	(53.7)	(53.8)		(53.11)
	パネアルボ開発	鉉	100,000	(53.4)	(53.5)	(53.9)	(53.10)		家畜衛生	農	20,000	(53.5)	(53.7)	(53.9)	(53.11)
	シンガポール		258,000						かんがい農業開発	・	150,000	(53.5)	(53.5)	(53.7)	(53.10)
	日・台合同訓練センター	社	250,000		(53.8)	(53.11)	54.3		えび養殖	・	15,000	(53.5)	(53.7)	-	-
	船舶訓練用機材	派	8,000	(53.7)	(53.8)		(53.12)		養 蚕	・	15,000	(53.7)	(53.7)	(53.8)	(53.10)
	スリランカ		40,000						中堅技術者	・	0	-	-	-	-
	高等水産講習所	農	30,000	(53.7)	(53.8)	(53.7)	(53.12)		とうもろこし	・	20,000	(53.4)	(53.4)	(53.9)	53.10 54.3
	職業訓練用機材	研	10,000	(53.5)	(53.7)	(53.9)	(53.11)		天然ゴム	鉉	20,000	(53.6)	(53.7)	(53.8)	(53.12)
	タイ		694,223						ベトナム		30,000				
	南北米穀講習所 センター	社	60,000	(53.7)	(53.8)	(53.10)	(53.12)		他國関係機材	研	30,000	(53.7)	(53.7)		54.2

国名 専 項 名	担 当 部 名	実施計画額 (円)	実施計画 協議時期 (月)	贈送請求書 提出時期 (月)	契 約 時 期	前 積 金 実施時期 (月)	国名 専 項 名	担 当 部 名	実施計画額 (円)	実施計画 協議時期 (月)	贈送請求書 提出時期 (月)	契 約 時 期	前 積 金 実施時期 (月)
中 近 東							チュニジア		20,000				
アノガニクタン		77,923					国立漁業センター		30,000	(53.4)	(53.5)	53.10	54.2
結核対策	医	50,000	(53.4)	(53.5)		54.3	水産加工研究センター	派	20,000	(53.7)	(53.7)		54.1
癌 研 究	医	27,923	中止	中止	中止	中止	薬品品質管理	医	40,000	-	-	-	-
アラブエリヤ		50,000					アフリカ						
中央科学技術大学	医	50,000	(53.5)	(53.6)	(53.9)	(53.12)	中央アフリカ		15,000				
工 業 材		215,000					薬 品 管 理	医	15,000	(53.5)	(53.5)		(53.6)
シヨウ機機整備 職業訓練センター	社	40,000	(53.5)	(53.6)	(53.9)	(53.12)	ガ ー ナ		60,000				
アラブ海運大学校	社	150,000	(53.5)	(53.6)	(53.9)	54.2	ガナ大学医学部	医	60,000	(53.4)	(53.5)	(53.6)	54.1
看護教育研究	医	10,000	(53.4)	(53.5)	(53.10)	54.1	象牙海岸		10,000				
人事行政用機材	-	15,000	中止	中止	中止	中止	消化器検査機材	研	10,000	(53.7)	(53.8)		(53.12)
イ ラ ン		87,000					ケ ニ ア		30,000				
産業衛生・核医学	医	60,000	中止	中止	中止	中止	M.Y.S 上級技術 訓練センター	社	20,000	(53.8)	(53.9)	(53.9)	(53.12)
ガボル農業研究	農	27,000	(53.5)	(54.8)	(53.10)	54.1	電 話 信 用 機 材	-	10,000	-	-	-	-
イ ラ ン		30,000					マダガスカル		70,000				
電気産業訓練	鉱	30,000	(53.5)	(53.6)		54.2	北部畜産開発	農	70,000	(53.8)	53.10	(53.9)	(53.10)
ジョルダン		100,000					マラウイ		10,000				
工業科学院電子 工業センター	社	100,000	(53.5)	(53.6)	(53.9)	53.12 54.2	水産検査用機材	派	10,000	(53.7)	(53.8)		54.2
シ リ ア		60,000					ナイジェリア		30,000				
乳牛疫病対策機材	派	60,000	(53.7)	(53.8)	(53.9)	54.2	イブ大学医学部	医	15,000	(53.7)	(53.8)		54.2

国名 事項名	担当 部名	実施計画 額 (千円)	実施計画 協議時期 (月)	贈送請求書 提出時期 (月)	契約 時期	船積 時期 (月)	国名 事項名	担当 部名	実施計画 額 (千円)	実施計画 協議時期 (月)	贈送請求書 提出時期 (月)	契約 時期	船積 時期 (月)
ナイジェリア大学	医	15,000	(53.7)	(53.8)		54.2	チリ		80,000				
タンザニア		88,000					早期胃がん対策	医	60,000	(53.4)	(53.5)	(53.7)	(53.10) 54.2
結核対策	医	30,000	(53.7)	(53.8)			銅製練	鉦	10,000	(53.6)	(53.7)		(53.11)
キルン農業開発	農	58,000	(53.7)	(53.11)			電力開閉調整機材	研	10,000	(53.5)	(53.7)		(53.11)
ザイール		20,000					コスタリカ		26,500				
鉄道建設用機材	派	20,000	(53.5)	(53.7)	(53.8)	(53.12)	消化器検査機材	研	6,500	(53.5)	(53.7)	(53.7)	(53.11)
セネガル		20,000					イスラカ大学医学部	医	20,000	(53.6)	(53.7)		54.1
漁業訓練用機材	-	20,000	-	-	-	-	エクアドル		85,000				
中南米							微生物病研究対策	医	85,000	(53.4)	(53.5)		(53.11) 54.2
アルゼンチン		75,000					グレナダ		12,000				
鉦物分析用機材	研	25,000	中止	中止	中止	中止	消防訓練用機材	派	12,000	(53.5)	(53.7)		54.1
健康管理システム強化	医	50,000	(53.5)	(53.6)	(53.11)	54.2	グアテマラ		45,000				
ボリビア		160,000					オンコセルカ症 研究対策	医	45,000	(53.6)	(53.7)	(53.8)	(53.10)
鉦物検査用機材	派	15,000	(53.5)	(53.7)		(53.12)	ホンデュラス		22,000				
消化器病研究対策	医	85,000	(53.4)	(53.5)	(53.8)	(53.12)	最高裁判所 ガスソロ他	-	10,000	-	-	-	-
亜鉛回収	鉦	60,000	(53.5)	(53.6)		(53.8)	気象水分 観測用機材	派	12,000	-	-	-	54.2
ブラジル		207,000					メキシコ		42,714				
ポルトガルの 大学成人病研究所	医	20,000	(53.6)	(53.7)	(53.11)	54.1	電気通信訓練用 機材	研	42,714	(53.7)	(53.8)		54.3
リビア農業開発	農	80,000	(53.7)	(53.8)	(53.11)	54.2	ニカラグア		15,000				
農業研究	"	102,000	(53.7)	(53.10)	(53.11)	54.3	国立自治大学心 臓 他	医	15,000	(53.6)	(53.7)	未定	未定
鉦物資源	鉦	5,000	(53.6)	(53.7)									

国名 事 項 名	担 当 部 名	実施計画額 (円)	実施計画 協議時期 (月)	購送請求書 提出時期 (月)	契 約 時 期 (月)	輸 積 込 実施時期 (月)	国名 事 項 名	担 当 部 名	実施計画額 (円)	実施計画 協議時期 (月)	購送請求書 提出時期 (月)	契 約 時 期 (月)	輸 積 込 実施時期 (月)
バラブアイ		90,000					西 サモア		10,000				
産業訓練センター	社	70,000	(53.7)	(53.8)	(53.10)	(53.12)	漁業指導用教材	-	10,000	-	-	-	-
らひ痛対策	医	20,000	中止	中止	中止	中止	そ の 他		143,541				
内 視 鏡		6,000	-	-	-	-	I L O						
ペ ル ー		55,000					高等職訓用教材	派	70,000	(53.5)	(53.7)	(53.9)	54.1
水産加工センター	農	20,000	(53.6)	(53.7)	(53.7)	54.3	そ の 他		73,541				
電気通信 訓練用教材	派	25,000	(53.7)	(53.8)		54.3	(計画 中条件)						
鉦山保弁	鉦	10,000	(53.5)	(53.6)		(53.7)							
ウルグアイ		40,000											
野菜研究	農	40,000	(53.8)	(53.9)	未定	未定							
エロンビア		15,000											
ウラン資源調査機材		15,000	中止	中止	中止	中止							
ドミニカ		10,000											
消化器検査機材	研	10,000	(53.8)	(53.9)	(53.9)	(53.12)							
大 洋 州													
アイジー		6,000											
放送訓練用機材	派	6,000	(53.5)	(53.7)		(53.12)							
シフロネシア		30,000											
漁業開発	農	30,000	(53.10)	(53.12)		54.1							
シ ン ガ		5,000											
漁業訓練用機材	研	5,000	(53.5)	(53.7)		(53.11)	合 計		5,573,650				

4. 調査団の派遣

(1) 昭和52年度プロジェクト事業別調査団派遣実績及び予定月別表 (*52年度予算)

事業別 (予定)	実					
	52年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
1. 開発調査 (1) 事前調査 46件	○ネパール 道路力増強計画	○フィリピン マヨン火山砂防計画 ○タイ、A/T 国境警備 ○ブラジル、三州総合開発 ○エジプト、南部地域総合開発 ○タイ、技術協力調査	○シンガポール 資源開発計画 ○フィリピン、シンガポール 技術協力調査 ○タイ 国内電気通信、市内電話	○タイ、首都圏交通 ○エジプト エジプト救済 ○インドネシア 東部ジャワ開発 ○フィリピン ホルホル島総合開発 ○インド 技術協力調査	○インドネシア・マレーシア・シ ンガポール 水路測量 ○フィリピン 道路 ○ソロモン 国内電気通信網	○イラン・テヘラン 都市交通 ○タイ、ヒルマ 青少年センター
(2) 実施調査 24件	○タイ、マレーシア、シンガポール 海底ケーブル建設 ○インドネシア 病院整備	○インドネシア スマトラ西部北部 インフラ整備計画 遊牧産業振興 ○タイ バクヤ地区基礎整 備 ○タイ 首都圏周辺市街地 水道拡張計画 ○インドネシア・マ レシア 潮汐、潮流統一地 区 ○タンザニア 貨客船建造計画	○サイール マラティ橋架設 ○マラッカ海峡 潮汐、潮流調査	○インドネシア スマラン港改修計 画 ○マレーシア サラソク道路 ○インドネシア ボロウドール ウラル改修 ○エジプト スエズ運河経路シ ステム ○インドネシア 造船振興 ○タイ リアムカナンカ ガイ ○マレーシア トンガヌバ河地景 景 ○フィリピン イロコスノルテガスガ ○タイ メクロン川流域 ○イラク ミリフ農業開発 ○北イエメン ハジヤ州農業 ○フィジー 林業開発 ○タイ 道路	○パキスタン 造船振興 ○パラグアイ 造船振興 ○フィリピン イロコスノルテカ ザガ ○タイ 長距離電話	○ホンジュラス テグシガルハ 運 ○フィリピン 小水系河川 ○パキスタン ミニポート ○マレーシア ペナン下水道 ○インドネシア・マ レシア、シンガ ポール 水道測量 ○シンガポール 法源測量 ○インドネシア 造船 ○タイ ホロドール 船
(3) 長期調査 1件			○インドネシア メラピ火山噴出計画			
(4) 特別案件調 査 大規模パ ンプロジェクトア ーケアー調査 実施設計 52件		○スリランカ TV ○タイ A/T 国境警 ○ソロモン 漁業レス ー		○ペルー 水産加工 ○韓国 水資源 ○ナイジェリア 新港	○ケニア 農工大 ○タイ 農工大 ○インドネシア 石炭教育 ○タイ バンコック電話 ○インドネシア ムラマルワ ○パラグアイ 製糖	○セネガル フアレメ鉄道 ○インドネシア 南スラウエン ○ビルマ 工業高技術施設

競			予						
10	月	11	12	1	2	3	4		
○スリランカ ○マダガスカル	コロンボ港抜港 四道5号線	○スーダン ○アフリカ ○インドネシア ○マレーシア ○アメリカ ○フィリピン ○インドネシア ○イエメン ○インドネシア	夜街橋力調査 バリクバパン港整備 ジョーシワウン-パダ ワース道路 世界銀行開発調査案件 調査 病院整備計画 コマリ川流域開発 地下水道 メダン都市交通	○マレーシア ○パラグアイ ○インドネシア ○フィリピン ○	全国水資源総合調査 ストロエトル湖灌漑地 建設 ジャカルタ電線網 ダバオ都市交通 夜街橋力調査	○エジプト ○ネパール ○タイ ○マ	ナセル湖周辺地帯開発 地味開発ガイドライン トラックターミナル 農業開発計画	○シヨルダン ○インド ○カリブ海諸国 ○南太平洋 ○リベリア ○シエラレオネ ○コロンビア ○インドネシア ○ ○ ○エジプト ○マダガスカル ○タイ ○ボリビア	北部総合開発計画 地味総合開発計画 夜街橋力調査 道路建設 デポック住宅開発 シエラレオネ河川改修 南スラウェシ水資源 地方水道 地下水開発 マリカスガハ農業 チャバレー農業
○インドネシア ○フィリピン ○スリランカ ○ ○タイ ○イラック ○スーダン ○ギニア ○エジプト ○モリシヤ ○タイ ○インドネシア ○ブラジル ○マレーシア ○パングラチシュ ○マ ○ビルマ	リアハカサンカスガイ (現地作業整理) イロコスワルテクスガイ () モラガハカンダ農業開 発 (計画調査) () () メクロン川総合開発 (現地作業整理) カハラ橋建設計画 (F/S) パイロットファーム開発 カンカン地区農業開発 鉄道近代化 リンゴロード バツヤ地区 マレーシア・シンガポール 海峡・潮流観測 三州 開発 アロースター下水路 ラジオ放送会館建設 地下水開発 イラワジ農業総合開発	○マレーシア ○インドネシア ○ ○タイ ○エジプト ○モリシヤ ○ビルマ ○インドネシア ○マレーシア	シンガポール・マレー シア 潮流観測 リンゴロード建設 東部マラウ州都市開発 首都圏交通計画 スエズ運河給水システム リンゴロード 南ナウインカスガイ ハミ河川農業開発 トレンガマ河川農業開 発	○インドネシア・マレー シア ○シンガポール ○ギニア ○スーダン ○アメリカ ○インドネシア ○シンガポール ○インドネシア ○タイ ○エジプト ○インドネシア ○タイ	シンガポール マラッカ海峡ワンプア ダム水路調査 カンカン地区農業開発 カリバ地区農業開発 世界水資源調査 本ロアトール・フラン パラン園地復元計画 茂樹(イロ)セツ計画 造橋事業 国内長距離市外道路・ バンコック電線網建設 同鉄道近代化 リアムカフンカスガイ カンパセンカスガイ 農業	○マ ○ソロモン ○タイ ○モリシヤ ○ビルマ ○ ○スリランカ ○タイ	地下水 電線通信網 ペチアブン・チャイハ ダム道路 リンゴロード イラワジ川流域 南ナ ウインカスガイ ライスミル建設 モラガハカンダ農業開 発 リンパセン農業開発	○インドネシア ○フィリピン ○ ○シンガポール ○マレーシア ○ ○エジプト ○ホンチユラス ○インドネシア・マレー シア ○マレーシア ○シンガポール	バリクバパン港建設 所産地帯 パターン港洋道路 茂樹(イロ)セツ サラソク道路 アロースター下水路 スエズ運河給水 チャシガルバ新築 マレーシア・シンガポール マレーシア トレンガマ河川農業開 発 マリカスガハ農業 チャバレー農業
○ビルマ ○インドネシア ○マレー ○ナイジェリア ○インドネシア ○パラグアイ ○スリランカ	建設訓練技術 看護教育施設建設 水産加工センター 前建設計画 ムラソルマン林業研究 南部パラグアイ農業開 発 総合開発センター テレビ放送組建設計画	○マダガスカル ○タイ ○インドネシア ○パングラチシュ ○マ ○マ ○フィリピン	マレーシア スワレス街在 校舎センター カセラート大建設 備 かんがい排水センター 食糧倉庫 ソロ河改修 輸送力増強 工科大学長官制センター	○シヨルダン ○ビルマ ○セネガル	ハルエムット工団E五 科学院電子工学リ・ビ スロニター 選抜訓練研究班 アロースター	○フィリピン ○ ○パキスタン ○マ ○ ○パングラチシュ	熱帯農畜繁殖 日・米総合技術調査 選抜訓練研究班 グアタマニエポ 隊一隊員訓練調査 基礎調査 ラジオ放送局	○インドネシア ○タイ ○スーダン ○パラグアイ ○インドネシア ○ビルマ ○マ	ムラマロリン大専 熱帯農畜繁殖 カセラート大専建設 グアバ・パイロット・ ファーム建設 南部パラグアイ農業開 発 総合開発センター 看護訓練研究班 建設力増強

事業別 (予定)	月別	年					
		53年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
(5) 地形図作成 調査 6 件				○ パナマ 地形図作成調査 ○ ボリビア チンパレー地区 地形図作成			
(6) 農林業調査 調査 4 件	(*) フリピン ボネール農業調査 (*) イラク 農業復興計画	○ インドネシア 南スマトラ・ムシ 河林業調査 ○ スーダン カヤバ地区農業開 発計画					
(7) 水産資源調 査 3 件		○ ガボン 水産資源調査 ○ ギルバート諸島 "					
小 計 206 件 (新規 204件) (繰越 2件)	5 件	18 件	8 件	14 件	14 件	14 件	

前			予		
10月	11月	12月	54年1月	2月	3月
	<ul style="list-style-type: none"> ○ フロピオン 熱帯病研究所センター ○ ナイジェリア 新港建設 ○ タンザニア マリマンジヤロ統合開発計画 			<ul style="list-style-type: none"> ○ ナパール ラジオ局改修 ○ シンガポール 電子工学サービス訓練センター ○ タンザニア マリマンジヤロ統合開発 	
○ ギニア 地形図作成		○ ケニア 東部地形図作成	○ パナマ 地形図	○ フロピオン ガガマン地区地形図作成	
		○ コロンビア 水産資源開発第2次 S/W 協賛			
27 件	22 件	21 件	21 件	56 件	1 件

(調査団の派遣 — 続き)

(単位 件数)

事業別(年度)	実 績									予 定		
	53年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2. 技術研修センター (1) 事前調査 7件		○ペルー 電気通信セン ター			○ケニア ケニヤッタ大学 ○エジプト 機械研究開発 中心 ○タイ モンクット王工 科大学		○ビルマ 通信・無線	○ウエズエラ 通信オペレータ				○アフガニスタン 電気通信訓練 センター
(2) 実施調査 7件			○シンガポール 国・訓練セン ター		○マレーシア 電気メッキセ ンター			○タイ モンクット王 工科大学		○エジプト 通信研究	○ペルー 電気通信セン ター ○パキスタン 電気通信セン ター	○ブラジル SENATI訓練 センター
(3) 巡回指導 1件				○フィリピン 産業センター								
(4) 討議打合せ 4件			○サウディ・アラ ビア王立リヤ ド電子工学院					○スリランカ 高等水産講習 所		○マレーシア 船舶機関工技 校	○イラク 電気産業訓練 センター	
(5) エバリュエー ション 2件								○ケーブ 訓練訓練セン ター		○ケニア NYS工技 訓練セン ター		
(6) 機材修理 0件												
小 計 21件 (新規 17件) (繰越 4件)	1件	1件	2件	1件	4件	1件	1件	4件	1件	3件	3件	2件

(調査国の派遣 — 続き)

(単位 件数)

事業別 月別	美 績									予 定		
	55年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	56年1月	2月	3月
3. 保健医療 (1) 事前調査 2件					○ 寮国 聖パウロ病院 循環器センター			○ スリランカ ペラデニア師 ニ教育病院				
(2) 実施調査 5件							○ インドネシア 施設教育 ○ ビルマ 生物医学研究所				○ バングラデシュ 循環器病対策 ○ ケニア 伝染病研究対策 ○ 韓国 聖パウロ病院 循環器センター	
(3) 巡回指導 3件					○ ブラジル リオグランデ・ド ノールカトリック 大学疫学病研 究所 ○ ホリビア 消化器病研究 対策			○ フリビント 医療対策				
(4) 訪問打合せ 1件			(注) インドネシア 中央生物医学 研究所									
(5) 教材修理 3件				○ タイ(1) 家族計画他 ○ ガーナ・ウエア(1) カーナ大学医 学部他						○ インドネシア 中央生物医学 研究所		
(6) インタビ ュエー ション 2件											○ グアテマラ オンコセルカ 症対策 ○ アカヒマダン 結核対策	
小 計 11件 (総数 157件)	—	—	1件	2件	3件	—	5件	1件	—	1件	5件	—

(調査田の旅遣 — 続き)

(単位 件数)

事業別 月別	英							欧			予			定
	53年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
4. 農林系協力 (1) 事前調査 8件	(※)ブラジル サンパウロ林 業研究			○ タイ カセサート大学 ○ コスグリカ				○ インドネシア リートセレン ンツ ○ テリ 本産 養殖			○ ビルマ 農業開発	○ タイ 植草研究所	○ シリア メスケネ試験 現場	
(2) 実施調査 10件	(※)ビルマ 畜産開発				(※)インドネシア 養殖 ○ パラグアイ イタパパ林業開発 ○ パラグアイ テラロニア製 林業開発 ○ ミクロネシア 漁業開発	○ インドネシア 中堅技術者		○ インドネシア 中堅技術者 ○ ブラジル サンパウロ林 業研究			○ パラグアイ 製林業開発	○ ミクロネシア 漁業開発		
(3) 実施設計調 査 3件		○ インドネシア 山岳林収獲技 術			○ アフガニスタン 編作開発			○ ビルマ アラカン林業 開発						
(4) 巡回指導 16件	○ バングラデシュ モデルインフ ラ巡回指導 ○ ネパール シマナカナル	○ フィリピン パンシベンカ ン製林造成技 術協力		○ インドネシア 南スラウェシ	○ マニラ キリマンジェロ 製茶開発		○ インドネシア ランポン ○ フィリピン バンクバンガ ン森林	○ マニラ キリマンジェロ 製茶開発 ○ タイ、インドネシア 家畜衛生 ○ タイ、インドネシア 養殖		○ マレーシア、タイ 水管理、かん がい ○ ミクロネシア 漁業開発	○ ネパール シマナカナル	○ 韓国 製茶開発 ○ インドネシア 現場		
(5) 調査打合せ 4件			(※)マレーシア 水管組				(※)バングラデシュ 調査者及			(※)バングラデシュ 製茶普及	○ ビルマ 畜産開発			
(6) エバリュエー ション 3件				○ インドネシア 農業研究 ○ 韓国 製茶研究								○ インドネシア 南スラウェシ		
(7) 基礎調査 3件								○ タイ 造林調査 ○ フィリピン、バングラ デシュ 製林調査 ○ インドネシア、スラバ ヤ製林調査						
小 計 47件 (新規 42件 継続 5件)	4件	2件	1件	4件	6件	2件	2件	12件	1件	4件	5件	4件		

(調査国の旅費 — 続き)

(単位 件数)

事業別 月別	実									予		
	53年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	54年1月	2月	3月
5. 開発協力 (1) 試験的調査 11件		(※) インドネシア 南スマトラ プオカントウ 林業試験場 カ(津波)	○ ブラジル アマゾン現地 火災基礎二次 調査	○ インドネシア 南スマトラ プオカントウ 林業試験場 林業試験	(※) ブラジル 農業開発協力 前年度調査 (原簿調査)	○ ブラジル アマゾン現地 火災調査打合 せ	(※) ブラジル 農業開発協力 ○ グアテマラ 林業		○ インドネシア 南スマトラプカ ントウ林業試験 場		○ パプアニューギ ニア 林業開発協力	
(2) 関連イン フラ 3件			(※) リベリア ウオロフシ鉄 橋石開発基礎					○ リベリア ウオロフシ鉄 橋石		○ パナマ 銅鉄山開発因 連		
(3) 投資資金 3件						(※) ブラジル、コ ロンビア 投資資金調 査		○ メキシコ、コスタ リカ、リベリア 投資資金調査 調査			○ インドネシア アサハンアル ミ投資	
小 計 17件 (新規 14件) (繰越 3件)	—	1件	2件	1件	1件	3件	2件	2件	2件	1件	2件	—

(調査項目の経過 — 続き)

(単位 件数)

事業別 月別	実 績									予 定		
	53年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	54年1月	2月	3月
6. 産業開発技術 協力 (1) 事前調査 3件							○メキシコ 運送料徴 ○南西アジア プロファイ	○ペルー 土産物品流通 改善				
(2) 実施調査 1件				○インドネシア 運送								
(3) 実施設計調 査 1件												
(4) 巡回指導 3件		※ボリビア 豆粉回収		※タイ とうしろこし 開発							○チリ 銅製煉	
(5) 計画打合せ 1件					※インドネシア IV遊松廻							
小 計 8件 (新規 5件) (繰越 3件)	—	1件	—	2件	1件	—	2件	1件	—	—	1件	—

事業別	年 別										年 別		
	53年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	53年1月	2月	3月	
久 海外開発及び 資源開発調査 (1) 事前調査 22件	○モロッコ 資源開発協力 基礎	○チリ 資源開発協力 基礎	○イラン 輸油用製油所 化設計画 ○インドネシア P/F選定調査 ○フィリピン P/F選定調査	○フィリピン 資源開発協力 基礎 ○フィリピン デイトヨシホカ ○フィリピン 選定製糖工 場事前調査 ○ヴェネズエラ 小工業振興 ○ブラジル、マ ンビョリアルコ ール	○ペルー 資源開発協力 基礎	○チリ 地熱発電計画 事前調査	○ヴェトナム 技術協力調査 ○タイ 圧葉工場 ○銅、錫 水資源開発	○パキスタン ラクラ湖、石 炭火力発電 ○スーダン、エ ジプト、モロッコ P/F ○オマーン、ネパ ール、ビルマ、ク イ P/F ○インドネシア オンピリン石炭 ○チリ クラバカ州地 熱開発計画	○サウジアラビア 海水淡水化 ○マレーシア レピル水力発 電 ○韓国 水資源開発		○ケニア リフト湖岩地熱 ○インドネシア 武大ルア工場 アラブ5ヶ国 肥料工場メイ ンテナンス ○アルゼンティ ン硫酸肥料 ○中南米 鉄工業 P/F		
(2) 実施調査 75件	○メキシコ、ペルー 資源開発協力 基礎 ○インドネシア オンピリン石 炭開発	○フィリピン パイオ鉱業公 司防止計画調 査 ○ホンジュラス 資源開発協力 基礎 ○ボリビア 資源開発協力 基礎 ○インドネシア 資源開発協力 基礎 ○ペルー 資源開発協力 基礎 ○インドネシア 資源開発協力 基礎 ○トルコ 資源開発協力 基礎	(注)報告書説明 インドネシア Aocin 系系地 利工場前調査 ○グアテマラ ホンジュラス 資源開発協力 基礎 ○グアテマラ 資源開発協力 基礎 ○ペルー 資源開発協力 基礎 ○タイ メモ肥料工場 改修	○日本 水資源(2次) ○ウガンダ キリン山開 採 ○ペルー 中部地区資源 開発 ○メキシコ 北部資源開発 ○ネパール ウグアイプル モメント工場	○ヴェネズエラ オリノコク ルベルト(第 1次) ○インドネシア カリマンタン ○ボリビア 前 部 ○ホンジュラス 西部	○ホンジュラス 資源開発協力 基礎 ○アルゼンティ ン資源開発協 力基礎 ○ペルー中部 資源開発協力 基礎 ○モロッコ資源 開発協力基礎 ○トルコ クスルマック 水力発電 ○ペルー 自給中修理工 場 ○グアテマラ 資源開発協力 基礎調査 ○ペルー 地熱開発資源 開発協力	○フィリピン 選定製糖工 場実施調査 ○オマーン 工場 (報告書説明) ○チュニジア カセガ湖水力 発電() ○インドネシア デムバンク ○メキシコ 資源開発(北) ○ボリビア (南) ○アルゼンティ ン (北) ○グアテマラ (西) ○トルコ (ソコブ) ○チリ ()	○インドネシア 石油採掘生産 デムバンク ○ビルマ セメント工場 建設 ○ニジェール セメント工場 採掘 ○ペルー クンタ河資源 開発 ○メキシコ クリカニ第2 発電所 (報告書説明) ○モロッコ オートルマ資源 開発 ○ケニア オートルマ資源 開発 ○スーダン オートルマ資源 開発 ○スーダン 電力	○インドネシア 石油採掘生産 デムバンク ○モロッコ オートルマ資源 開発 ○トルコ ソコブ資源 開発 ○インドネシア マリン水力 ○タンザニア リマンバハ運 電線 ○パングラティ ン	○フィリピン 資源開発協力 基礎 ○スーダン セメント工場 ○ウガンダ 鉱工業プラ ントエレクト ロニクス ○アルゼンティ ン資源開発 ○チリ コンセプシ オン ○インドネシア マリン水力 ○タンザニア リマンバハ運 電線 ○パングラティ ン	○フィリピン ルソン北部 リベリア セントジャン 水力 ○アルゼンティ ン北部 ○インドネシア エボルギン バンク ○タイ 直接送電一 般 ○エジプト 直接送電一 般 ○パングラティ ン カリナクリ レーヨン工場 ○フィリピン 一連製糖所 ○オーストラ リア ○マレーシア レピル水力 ○パングラティ ン ○チュニジア カセガ湖水力 発電 ○コロンビア フルミート 水力		
小 計 103件 (前掲100件 繰越5件)	3 (5) (0)	8 (7) (1)	8 (7) (1)	10 (7) (1)	5 (5) (0)	7 (7) (0)	17 (15) (0)	14 (14) (0)	6 (6) (0)	9 (9) (0)	18 (18) (0)		

(2) 派遣状況

(単位 件数)

国名	担当部 件数	企画部		社会開発協力費		医療協力費		農林業関係本部		鉱工業関係三部		総計	
		年予 間定	第3四半期 実績	年予 間定	第3四半期 実績	年予 間定	第3四半期 実績	年予 間定	第3四半期 実績	年予 間定	第3四半期 実績	年予 間定	第3四半期 実績
アジア地域													
インド		-	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/
インドネシア		-	-	12	24	3	2	15	20	10	9	40	55
大韓民国		-	-	2	/	2	/	/	/	/	4	6	7
マレーシア		-	-	4	5	/	-	2	4	2	2	9	11
ネパール		-	-	/	2	-	-	2	/	/	/	4	4
パキスタン		-	-	2	2	-	-	/	-	/	2	4	4
フィリピン		2	/	5	9	2	-	3	7	8	11	20	28
シンガポール		-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	2	4
スリランカ		-	-	2	3	/	/	/	4	-	-	4	8
タイ		-	/	12	14	5	/	3	7	/	2	21	25
ビルマ		-	-	-	3	/	/	5	5	2	4	8	13
バングラデシュ		-	-	-	/	/	-	3	3	/	/	5	5
ヴェトナム		-	-	-	-	-	/	-	-	-	/	11	17
国別分類不能		-	2	4	10	-	-	5	4	/	/	-	2
中近東地域													
アフガニスタン		-	-	/	-	/	-	/	/	-	-	3	/
エジプト		2	/	5	6	-	-	-	-	/	/	8	8
イラン		-	-	/	/	-	-	/	-	2	/	4	2
イラク		-	-	2	/	-	-	-	3	/	-	3	4

国名	担当部 件数	企画部		社会開発協力部		医療協力債		農林業関係三部		鉱工業関係二部		総計	
		年予 間定	第3四期 実績	年予 間定	第3四期 実績	年予 間定	第3四期 実績	年予 間定	第3四期 実績	年予 間定	第3四期 実績	年予 間定	第3四期 実績
ジョルダン		2	/	-	/	-	-	-	-	-	-	2	2
フツエート		-	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-
モロッコ		-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	4	3
オーマン		-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	/	/
サウジアラビア		-	-	/	/	-	-	-	-	/	/	2	2
スーダン		-	/	-	-	-	-	-	-	/	-	/	/
シリア		-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	/	-
北イエメン		-	-	-	/	-	-	-	/	-	-	-	2
トルコ		-	-	/	-	-	-	-	-	3	4	4	4
国別分類不能		-	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-
アフリカ地域													
ガボン		-	-	/	/	-	-	-	/	-	-	2	2
ガーナ		-	-	-	-	/	-	-	-	-	/	/	/
ケニア		-	-	5	2	/	-	-	-	/	-	7	2
マダガスカル		-	-	-	/	-	-	-	-	-	-	-	/
マリ		-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	/	/
モーリシャス		-	/	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
ナイジェリア		-	-	/	3	-	-	-	-	/	-	2	3
セネガル		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
タンザニア		-	/	/	2	-	-	-	-	-	-	/	3

国名	担当部 件数	企画部		社会開発協力部		医療協力費		農林業関係三部		鉱工業関係二部		総計	
		年予 間定	第3四半期 実績	年予 間定	第3四半期 実績	年予 間定	第3四半期 実績	年予 間定	第3四半期 実績	年予 間定	第3四半期 実績	年予 間定	第3四半期 実績
ウガンダ		-	-	-	-	-	-	-	-	/	2	/	2
ザイール		-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	/	1
ギニア		-	-	/	/	-	-	-	2	-	-	/	3
リベリア		-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2
スーダン		-	-	/	/	-	-	-	2	-	-	/	3
国別分類不能		-	2	-	-	-	-	-	-	-	/	-	4
中南米地域													
アルゼンチン		-	-	-	-	-	-	2	-	3	2	5	2
ペルー		-	-	3	3	-	-	/	/	-	3	4	7
ボリビア		/	-	/	/	/	-	-	-	3	3	6	4
ブラジル		-	-	3	3	/	-	7	7	3	/	14	11
チリ		-	-	-	-	/	-	/	/	2	3	4	4
グアテマラ		-	-	-	-	/	-	/	/	-	/	2	2
コロンビア		-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
コスタリカ		-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	/	-
エクアドル		-	-	-	-	/	-	-	-	-	-	/	-
パナマ		-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	/	1
パラグアイ		-	-	-	2	/	-	2	3	-	-	3	5
ホンジュラス		-	-	/	/	-	-	/	-	-	/	/	2
ヴェネズエラ		-	-	/	/	-	-	-	-	-	2	/	3

国 別	相当部 件 数	企 画 部		社会開発協力費		医療協力部		農林業関係三部		鉱工業関係二部		総 計	
		年 予 間 定	第3四半期 実 績	年 予 間 定	第3四半期 実 績	年 予 間 定	第3四半期 実 績	年 予 間 定	第3四半期 実 績	年 予 間 定	第3四半期 実 績	年 予 間 定	第3四半期 実 績
ウルグアイ	-	-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	/	-
メキシコ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
国別分類不能	-	-	-	-	-	-	/	-	-	2	2	2	3
オセアニア地域													
ギルバート諸島	-	-	/	0	-	-	/	/	-	-	-	2	1
フィジー	-	-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	-	1
パプアニューギニア	-	-	-	-	/	-	-	/	-	-	-	/	1
ソロモン	-	-	/	2	-	-	-	-	-	-	-	/	2
ミクロネシア	-	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	/	1
地域分類不能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
未 定	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
アメリカ	-	-	-	/	-	-	-	-	-	-	-	-	1
合 計		9	12	81	121	26	9	63	85	62	77	241	304

5. 社会開発協力事業

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 額												予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3															
〔ビルマ〕 ビルマ協栄技術センター ① 協定期間 ② 予定費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 建設公社 ④ 協力概要(第2年次) ビルマ国内にて調達可能なセメントを用いたコンクリート路に関する建設技術者を養成するものであり、53年度は、専門家派遣機材供与、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 (河) 専門家派遣 長期 短期 機 材 (千円) 当初計画 繰越分 (——) 新規分 (——) 研修員受入 高級(準高級) 一般 5名																実施協議 5名 短期専門家チーム 3名 専門家派遣状況(短・長期)											
						3/26		7/2										<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在留数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数(A)+(B)-(C)	人数	0	3	3	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数(A)+(B)-(C)																								
人数	0	3	3	0																								
〔インドネシア〕 インドネシア・スラウェシ工業職業訓練センター ① 協定期間 42.2.9 ~ 54.2.8 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 労働務労及び協同組合館 ④ 協力概要(第5年次) 南スラウェシ州の工業に必要な技術者養成を目的とし(1)機材(2)板金溶接(3)自動車設備(4)電気(5)ラジオTV修理(6)木工(7)建築の指導員への初等等の技術指導を行う。 53年度は、専門家派遣、エバリュエーション機材修理チーム派遣、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 9名 短期 機 材 (千円) 当初計画 繰越分 (——) 新規分 (——) 研修員受入 高 (準高級) 一般 8名																エバリュエーション 機材修理											
																		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在留数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数(A)+(B)-(C)	人数	9	0	0	9
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数(A)+(B)-(C)																								
人数	9	0	0	9																								

(社会開発協力事業 - 続き)

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等								
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3										
[マレーシア] マレーシア船舶技術士養成計画 ① 協定期間 (延長) 48.12.3 ~ 55.6.2 (延長) ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 文部省 ④ 協力概要 (第2年次) マレーシア国の船舶技術士養成と目的とし、 ソング・オマールポリテクニクの船舶機関等 船舶工学の技術指導を行う。53年度は、計 画打合せの旅遣、専門家派遣、カウンターパ ート受入れを行う。	調査国派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 徴収 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 高級 (準高級) 1名 一般 3名														計画打合せ 11名 (理事長、船舶機関(2)、船舶工学1) 専門家派遣状況 (短・長期)								
													<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	4	2	2	4
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	4	2	2	4																			
													Mr. Pafik Lohan (準高) (文部省、職業・技術教育局、次長)										
[マレーシア] マレーシアMARAジョホールバル職業訓 練校 ① 協定期間 51.9.14 ~ 55.9.13 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 文部省 ④ 協力概要 (第3年次) マレーシア国の技術者養成と目的とし、 (1)船舶機関 (2)溶接 (3)電気メッキの指導員 への研修等の技術協力をを行う。 53年度は、巡回指導派遣、専門家派遣、 技術協力、カウンターパート受入れを行う。	調査国派遣 専門家派遣 長期 3名 短期 1名 徴収 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (48,000) 研修員受入 高級 (準高級) 一般 2名													巡回指導 3名 (顧問1、指導員1、船舶機関1) 1名 (電気メッキ) 専門家派遣状況 (短・長期)									
													<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	5	1	0	4
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	5	1	0	4																			
													2名										

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
〔パキスタン〕 パキスタン中央電気通信研究所 ① 協定期間 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 パキスタン電信電話総局 ④ 協力概要 パキスタン国の電気通信分野の実用 化の研究に対する技術指導を行う。 53年度は専門家派遣カウンターパー ト受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 3名 短期 機材(十円) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 一 般 4名																	無線、電子交換機、ソフトウェア、電子交換機ハードウェア、電子 動物/コンピュータ、マイクロ/VF/H 搬送、線路 回路製造……各分野ノ名 専門家派遣状況(短・長期)								
																<table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	0	0	0	0																						
〔フィリピン〕 フィリピン道路交通訓練センター ① 協定期間 52.4.12 ~ 53.4.11 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 フィリピン大学フィリピン道路交通訓練センター ④ 協力概要(第2年度) フィリピン国の交通技術者養成を目的 として(1)交通指導(2)交通工学(3)交 通管理の教官への助言等の技術指導を 行う。53年度は専門家派遣、機材供 与、巡回指導チーム派遣、カウンター パート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 9 短期 17 機材(十円) 当初計画 繰越分 (3,074) 新規分 (240,000) 研修員受入 高 級 5名 準高級 7名																巡回指導 専門家派遣状況(短・長期)									
																<table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>9</td><td>7</td><td>7</td><td>9</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	9	7	7	9
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	9	7	7	9																						

●実施協議 △調査請求 ○滞積 ×現地滞在

(社会開発協力事業 — 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																
<p>〔大韓民国〕</p> <p>韓国大田職業訓練院</p> <p>① 協定期間 51.3.31 - 55.3.31</p> <p>② 予算費目 技術協力センター費</p> <p>③ 相手国受入機関 労働庁</p> <p>④ 協力概要 (第3年次) 韓国の前掲着養成を目的とし、(1) 電機 (2) 電気 (3) 電子 (4) 機械 (5) 以上の技術者への助成等の施設設備に協力する。53年度は、機械修理チーム派遣、専門家派遣、カウンターパート受入れを行う。</p>	<p>調査団派遣</p> <p>専門家派遣 長期 6名 短期</p> <p>振替 (4月) 当初計画 繰越分 (—) 繰戻分 (—)</p> <p>研修員受入 一般 5名</p>																		<p>機械修理 (5名) (高圧頻回 溶接 電気 電子 機械 在日)</p> <p>専門家派遣状況 (短・長期)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>離脱(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在日者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		離脱(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在日者数 (A)+(B)-(C)	人数	1	10	5	6
	離脱(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在日者数 (A)+(B)-(C)																									
人数	1	10	5	6																									
<p>〔シンガポール〕</p> <p>日・シンガポールセンター</p> <p>① 協定期間 昭和53年6月29日より5年間</p> <p>② 予算費目 技術協力センター費</p> <p>③ 相手国受入機関 Economic Development Board</p> <p>④ 協力概要 (第2年次) シンガポール国の技術基幹的産業における技術者養成を目的とし、53年度は実施協議チームを派遣し、専門家派遣、機械供与、カウンターパート受入れを行う。</p>	<p>調査団派遣</p> <p>専門家派遣 長期 短期</p> <p>振替 (4月) 当初計画 繰越分 (—) 繰戻分 (250,000)</p> <p>研修員受入 一般 7名</p>			8/17	7/6														<p>実施協議 (7名 20日)</p> <p>専門家派遣状況 (短・長期)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>離脱(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在日者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(視察 1名) (3名)</p>		離脱(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在日者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	離脱(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在日者数 (A)+(B)-(C)																									
人数	0	0	0	0																									

(社会開発協力事業 一統)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実績										予定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
〔タイ〕 東北タイ職業訓練センター ①協定期間 52.12.12 ~ 56.12.11 ②予算費目 技術協力センター費 ③相手国受入機関 内務省労働局 ④協定概要(第2年次) タイ国の(1)自働車(2)農業機械、 (3)板金溶接(4)機械(5)電気、電子 (6)建築の各コースの技術者養成についで技術協力を行う。55年度は、専門 家派遣、機材供与、カウンターパート 受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 11名 短期 3名 機材(千円) 当初計画 繰越分(—) 新規分(50,000) 研修員受入 準高級 1名 一般 6名															専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在籍者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																						
△ ● ← →	← → ← →																									
〔タイ〕 モンクット王工科大学 ①協定期間 ②予算費目 技術協力センター費 ③相手国受入機関 モンクット王工科大学 ④協力概要(第2年次) タイ国における上級の修士及び博士コ ースの電気通信技術者養成を目的とし、 55年度は、実施協議チームを派遣し、 専門家派遣、カウンターパートの受入れ を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 1名 機材(千円) 当初計画 繰越分(—) 新規分(—) 研修員受入 高級(準高級) 1名 一般 11名															専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在籍者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	1	0	1
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	1	0	1																						
← → ← →	← → ← →																									

(社会開発協力事業—続き—)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
〔アフガニスタン〕 電気通信訓練センター ①協定期間 ②予算科目 技術協力センター費 ③相手国投入機関 ④協力概要(第1年次) 本センターのテレビ部門に対して協力を 行う。53年度は事前評価チームの派遣 を実施する。	調査団派遣																事前調査
	専門家派遣																
	概 算 (十円)																継続(A)
	当初計画																新規(B)
	繰越分(/)																帰国(C)
	前掲分(/)																要注文注者数 (A)+(B)-(C)
																	人 数
																	0
																	0
																	0
																	0
〔エジプト〕 アラブ連連大学校 ①協定期間 51.11.6 ~ 55.11.5 ②予算科目 技術協力センター費 ③相手国投入機関 エジプト政府海運省 ④協力概要(第3年次) アラブ連連の船員養成を目的とし、(1) 海員訓練センター(2)航海学部(3)機関 学部の教官への助言等の技術指導を行う 53年度は、専門家派遣、概算供与、巡回 指導チーム派遣、カウンターパート受 入れを行う。	調査団派遣																主席顧問 調整員 甲板(1) 機関(1) 電気(1) 航海(1) 機関部門(1) 郵付専門家
	専門家派遣																
	長期 3名																継続(A)
	短期 5名																新規(B)
	概 算 (十円)																帰国(C)
	当初計画																要注文注者数 (A)+(B)-(C)
	繰越分(2507)																< 数
	前掲分(70,000)																6
																	1
																	1
																	6
	可修費投入																
	高 級 2名																(機関部長、教育計画部長)
	一 般 2名																Mr. Ossama Muzawi (船員教育行政及び機関)
																	(機関カウンターパート)

●実施協議 △贈送請求 ○船員 ×現地派遣者

(社会開発協力事業—続き)

【国名】 プロジェクト名称等	協力の内容	実 績										予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
【エジプト】 エジプト・ジョアラ救済植民地訓練センター ①協定期間 52.1.30 ~ 57.1.27 ②予算費目 技術協力センター費 ③相手国受入機関 エジプト政府工務省 ④協力の概要 エジプト国の民能増進を目的とし、 (1)金橋加工機械(2)電気(3)繊維機械の 指導員への助言等の技術指導を行う。55 年度は、専門家派遣、機材供与、巡回指 導チーム派遣、カウンターパート受入れ を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 8名 短期 2名 機材(千円) 当初計画 繰越分(5,300) 新規分(40,000) 研修員受入 一般 2名														(金橋加工(1) 電気(2) 首席顧問 調整員) (繊維部門(2)) 専門家派遣状況(長期)										
					△											<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人 数	8	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																					
人 数	8	0	0	8																					
【サウジアラビア】 サウジアラビア王国リヤド電子工業高校 ①協定期間 49.6.12 ~ 閉校日 ②予算費目 技術協力センター費 ③相手国受入機関 教育省 ④協力の概要(第5年度) 中級技術者養成を目的とし(1)ラジオ 科(2)テレビ科(3)電気通信科(4)電気 計測科の教員への助言等の技術指導を行 う。 53年度は、専門家派遣、カウンターパ ート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 5名 機材(千円) 当初計画 繰越分(—) 新規分(—) 研修員受入 高級(準高級)1名														計画打合せ(繰越) 専門家派遣状況(長期)										
																<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																					
人 数	0	0	0	0																					

●実施協定 △贈送機材 ○船賃 ×現地滞在

(社会開発協力事業—続き)

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野	年										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
<p>[ジョルダン]</p> <p>ジョルダン王立科学院電子工学リ-ビスセン ター</p> <p>①協定期間 52.12.17 ~ 58.12.16</p> <p>②予算費目 技術協力センター費</p> <p>③相手国受入機関 ジョルダン王立科学院</p> <p>④協力概要(第3年次) 電子応用分野、電子工学技術者の訓練 を目的とした協力をを行う。 53年度は、専門系派遣、機材供与、カ ウンターパート受入れを行う。</p>	<p>調査団派遣</p> <p>専門系派遣 長期 1名 短期 6名</p> <p>機材(千円) 当初計画 繰越分(—) 新規分(100,000)</p> <p>研修員受入 高級(準高級) 一般 2名</p>														<p>長期: 技術顧問 1名</p> <p>短期: 校正・検定及び一般無線機専門隊 2名 放送機専門隊 1名 電気通信 " 2名 X-カ-の機材 " 1名 計 6名</p> <p>専門系派遣状況(短・長期)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>離脱(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		離脱(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	0	0	0	
	離脱(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																						
人 数	0	0	0	0																						
<p>[トルコ]</p> <p>トルコ・イスタンブール工業職業高校</p> <p>①協定期間 48.6.1 ~ 54.6.20</p> <p>②予算費目 技術協力センター費</p> <p>③相手国受入機関 文 部 省</p> <p>④協力概要(第6年次) トルコ国中堅技術者養成を目的とし、 (1)選課科(2)増設科(3)製造科の教員へ の助言等の技術指導を行う。53年度は 専門系派遣・カウンターパート受入れを 行う。</p>	<p>調査団派遣</p> <p>専門系派遣 長期 1名 長期 2名 短期 5名</p> <p>機材(千円) 当初計画 繰越分(—) 新規分(—)</p> <p>研修員受入 一般 2名</p>													<p>(調査員)</p> <p>(チーフ、製造)</p> <p>{ (ボイラー係員) (冷凍機係員 2名) (シマ-レポート係員 2名)</p> <p>専門系派遣状況(短・長期)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>離脱(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>(航海術 1名) (製造科 1名)</p>		離脱(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人 数	6	2	6	2		
	離脱(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																						
人 数	6	2	6	2																						

●実地研修 △贈送請求 ○船積 ×現地送付

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	実績										予定			分野等									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
【ケニア】 ケニヤッタ大学 ①協定期間 ②予算費目 技術協力センター費 ③相手国受入機関 教育省 ④協力概要(第1年度) ケニア国経済の発展に寄与する技能と 身につけた労働力の育成と計る教工大学 の設置協力を行う。 53年度においては、プロジェクト基本 計画等を策定するため事前調査チームを 派遣した。	調査団派遣 専門家派遣 振替(十円) 当初計画 繰越分(—) 新規分(—) 研修員受入 一般 2名 (附調扱い)														事前調査 専門家派遣状況(短・長期)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0													
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																				
【ケニア】 ケニアNYS上級技術訓練センター ①協定期間 50.5.26 ~ 54.5.25 ②予算費目 技術協力センター費 労働省 ③相手国受入機関 労働省 ④協力概要(第4年度) ケニア国技能者養成と目的とし、(1)板 材科(2)仕上科(3)電気工学科の指導員 への助言等の技術指導を行う。 53年度は専門家派遣、エバチーム及び 板材修理チーム派遣また2名の研修員受 入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 6名 長期 振替(十円) 当初計画 繰越分(—) 新規分(20,000) 研修員受入 一般 2名	4/21 4/4 4/8													(板材修理) (エバリエーション) (正席預引) (振替科) (主席預引) (板材科) (仕上科) (電気工学科)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)	人数	4	2	2	4	(板材科 1名) (仕上科 1名)												
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	4	2	2	4																				

●実施協賛 △派遣員長 ○船長 ×現地担当者

(社会間連携事業 - 続き)

【団体名】 プロジェクト名称等	協力内容	実績												予定			分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
【パラグアイ】 パラグアイ職業訓練センター ①協定期間 53.2.24 ~ 57.2.23 ②予算費目 技術協力センター費 ③相手国受入機関 文部省 ④協力概要 (第2年次) パラグアイ国の(1)木工(2)機械(3)電気(4)電子(5)自動車整備(6)冷凍配管(7)建築の各種について訓練指導を行う。 53年度は、専門隊派遣、機械供与、カウングート受入れを行う。	調査用派遣 専門家派遣 長期 13名 短期 機械 (4台) 当初計画 繰越分 (42,000) 新規分 (48,000) 研修員受入 一般 5名																(自序領関、調整費、木工、機械、電気、電子、自動車整備、冷凍配管、建築) 専門家派遣状況 (短、長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	2	0	2
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																						
人数	0	2	0	2																							
(4) 5 (2) 20000 (2) 20000 (4) 48000																	(1) 1名(口単発片) (木工、電気、電子、自動車整備、建築)										
【ブラジル】 SENAI職業訓練センター ①協定期間 ②予算費目 技術協力センター費 ③相手国受入機関 労働省 ④協力概要 (第2年次) ミナス・ジェライス州での電気及び電子工業部門に技能者の派遣指導を行う。 53年度は、実施協議チームを派遣し、協力の内容討議し、専門隊派遣等を行う。	調査用派遣 専門家派遣 短期 2名 機械 (1台) 当初計画 繰越分 (—) 新規分 (—)																実施協議 (電気、電子) 専門家派遣状況 (短、長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	2	2	0
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																						
人数	0	2	2	0																							
(4) 2 (2) 2 (2) 2																	(電気、電子)										

●実施協議 △贈送請求 ○船積 ×現地送着

(社会開発協働事業 — 続き)

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
【ペルー】 電気通信訓練センター ① 協定期間 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国段入機関 運輸通信省 ④ 協力概要 (第2年次) ペルー国の電気通信分野の技術者の養成を計る。53年度においては、事前調査結果に基づき実施協賛チームを派遣する予定である。電話交換、線路、放送(スタジオ技術及び送信技術)伝送、テレックスデータ通信、宇宙通信の7部門における技術者養成を計る。	調査団派遣 専門家派遣 概 括 (十円) 当初計画 繰越分 () 新規分 ()															事前調査 (継続) 実施協賛 専門家派遣状況 (短、長期) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在位者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在位者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在位者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	0	0	0	0																						
【ヴェネズエラ】 港湾訓練パイロットセンター ① 協定期間 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国段入機関 港湾方 (IN/P) ④ 協力概要 (第1年次) ヴェ国は港湾混雑の解決を緊急な課題としており施設面の拡充及び港湾労働者の育成に努めている。しかし、訓練方法の未熟、指導者の不足等により、人材育成面の協力を我団に依頼した。53年度においては、事前調査チームを派遣し、具体的協力範囲・内容等を決定し、ヴェ国のとるべき措置等と協賛した。	調査団派遣 専門家派遣 概 括 (十円) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 一 般 1名															事前調査 専門家派遣状況 (短、長期) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在位者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在位者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在位者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	0	0	0	0																						

●実施協賛 ▲派遣請求 ○協賛 ×現地赴任

6 保健医療協力事業

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
(ナイジェリア) ナイジェリア大学医学部 ① 協定期間 53/1 ~ 54/12 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 経済開発省 ④ 協力概要(第2年次) 病院、衛生員2分野の基礎医学教 育に資する協力 53年又は、専門家派遣・研修供与 カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 3名 機材(十円) 当初計画 純経分() 新規分(6,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 3名																2名 x /月(内視鏡)、1名 x 3年(解剖学) 専門家派遣状況(複・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>視鏡(A)</td> <td>解剖(B)</td> <td>解剖(C)</td> <td>既在研修員数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </table> 2名 x 2名(Audio Visual) 1名 x 6月(獣生初学)		視鏡(A)	解剖(B)	解剖(C)	既在研修員数 (A)+(B)-(C)	人数	0	3	3	0
			視鏡(A)	解剖(B)	解剖(C)	既在研修員数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	3	3	0																							
(中央アフリカ) (特別研修供与・保健省) ① 協定期間 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力概要 特別研修 工機機材は、同国保健省所属の1/5 の地方公立病院に対し供与され、医 療実務実施の為に整備を促すた めのものである。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(十円) 当初計画 純経分() 新規分(2,700) (研修員受入) 高級(準高級) 一般																専門家派遣状況(複・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>視鏡(A)</td> <td>解剖(B)</td> <td>解剖(C)</td> <td>既在研修員数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		視鏡(A)	解剖(B)	解剖(C)	既在研修員数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	視鏡(A)	解剖(B)	解剖(C)	既在研修員数 (A)+(B)-(C)																							
人数	0	0	0	0																							

○ 実施済 △ 購置請求 ○ 未済 × 廃止済

(保健医療協力事業—総括)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(ケニア) 国立公衆衛生研究所 ① 協定期間 R/D 未署名 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要 国立公衆衛生研究所の設立に対し協力を する。53年度は、実施協議ナ-Aを派 遣し、R/Dを交換することにより協力を を開始する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 2名 機材(十円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般															4人×20日(実施協議) 2人×32日(ウイルス学、感染症各1名) 専門家派遣状況(長・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>繰越(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留者 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者 (A)+(B)-(C)	人数	0	2	2	0
			繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	2	2	0																						
(タンザニア) 結核対策 ① 協定期間 49.4~54.3 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第3年度) タンザニア公衆衛生面で問題となっ ている結核を、タンザニア北部地域の 結核患者発生率低下を計るための協力 53年度は、専門家派遣、カウンター パート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 機材(十円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般 1名															1名×2カ月(結核対策) 専門家派遣状況(長・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>繰越(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留者 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 1名×4月(結核対策)		繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者 (A)+(B)-(C)	人数	1	0	1	0
			繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者 (A)+(B)-(C)																				
人数	1	0	1	0																						

(保健医療協力事業—概要)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
(ビ ル マ) 生物医学研究センター ① 協力期間 R/D未署名 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省医学研究所 ④ 協力概要(第1年次) 53年度は、事前調査結果に基づき 表紙掲載テーマを派遣し、R/Dを結 び協力を開始する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 2名 機材費 (+14) 当初計画 繰越分 (—) 新規分 (—) 研修員受入 高級(準高級) 一般						10/30	11/12						3名 × 14日 (実地研修) 2名 × 23日 (病理学) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在研修者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在研修者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	2	2	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在研修者数 (A)+(B)-(C)																				
人 数	0	2	2	0																				
(ビ ル マ) 歯科大学 ① 協定期間(延長) 47.4 ~ 50.3 50.4 ~ 54.3 (延長) ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 国立歯科大学 ④ 協力概要(第2年次) 国立歯科大学に対する設備整備及び 口腔病理学、口腔細菌学講座の開設と 助成並びに学校歯科医科学生との養成を 行う。 53年度は、専門家派遣、カウンター パート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 3名 機材費 (+14) 当初計画 繰越分 (—) 新規分 (—) 研修員受入 一般 2名												1名 × 3 日 (設備調査) 2名 × 20 日 (機材搬付) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在研修者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 1名 × 2 1/3 日 (口腔病理学) 1名 × 2 1/3 日 (口腔細菌学)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在研修者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	3	3	0	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在研修者数 (A)+(B)-(C)																				
人 数	0	3	3	0																				

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
(インドネシア) 家族計画 ① 協定期間 52.7 ~ 55.3.31 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 国家家族計画調整委員会 ④ 協力概要(第2年度) 情報、教育、広報活動及び母子保健 分野への協力による家族計画の普及に 協力する。 53年度は、専門家派遣、教材供与、 カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣																	1名 × 12ヶ月 (視察教育) 1名 × 8ヶ月 (教育上程) 2名 × 14日 (教材提供、VTR操作)
	専門家派遣 長期 1名 短期 2名																	
	教材(十冊) 当初計画 繰越分(一般 0) 新規分(39,000) 特別(51,000)			(-)△		(特)△												総数(A) 新規(B) 帰国(C) 繰越分(D) (A)+(B)-(C)
	研修員受入 一般 6名			△														人数
				6/5		7/9												3名 + 25日 (視察教育) 3名 + 2日 (視察教育)
(インドネシア) 中央生物医学研究所 ① 協定期間 52.4 ~ 55.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第4年度) 生物製剤の検定標準化及びウイルス 研究活動に対して協力する。 53年度は、専門家派遣、教材供与、 カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣																	3名 × 11日 (計画行合せ)
	専門家派遣 長期 1名 短期 8名																	
	教材(十冊) 当初計画 繰越分 新規分(25,000)			△														専門家派遣状況(短・長期)
	研修員受入 一般 2名																	人数
																		2名 × 6日 (抗血清、ウイルス診断)

● 実地研修 △ 贈送請求 ○ 帰国 × 帰地講習

(保健医療協力事業— 授産)

(回名) プロジェクト名称等	協力内容	年度										子 数			介 野 年										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(イ ラ ン) 産業衛生・技医学 ① 協定期間 53. 4. 1 ~ 57. 3. 31 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 テヘラン大学医学部(技医学) 公衆衛生学部(産業衛生) ④ 協力概要(第2年度) テヘラン大学ダリウス病院医事部技 医学研究所での診断技術の向上及び設 備の整備、また、同大学公衆衛生学部 産業衛生学教室を主軸とし、産業衛生 分野での研究活動の改善及び要員の訓 練へ協力する。53年度は専門家派遣 カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0名 短期 1名 教材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(0) 研修員受入 高級(準高級) 0名 一般 2名														1名 × 2.5月 (産業衛生) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table> /名 × 1ヶ月 (技医学) /名 × 3ヶ月 (産業衛生)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	1	1	0
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	1	1	0																					
(チニジア) 薬品品質管理 ① 協定期間 53. 4. 1 ~ 57. 3. 31 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力概要(第1年度) チニジア国立栄養研究所に対し薬 品品質管理の試験研究に関する協 力、研究内容は(1)薬効力学(2)医薬品 の化学分析(3)医薬品の機器分析(4) 医薬品の微生物学的試験研究である。 53年度は専門家派遣、研修員受入れ を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 1名 教材(千円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(0) 研修員受入 高級(準高級) 1名 一般 2名													1名 × 10ヶ月 (薬品品質管理) 1名 × 1ヶ月 (薬務行政) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table> /名 × 1ヶ月 (視 察) /名 × 1ヶ月 (薬効力学) /名 × 1ヶ月 (機器分析)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	1	0	1	
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	1	0	1																					

(保健医療協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3															
(子 リ) 胃がん対策 ① 協定期間 52.4 ~ 55.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 子リ大学医療部 ④ 協力概要(第2年次) 子リ大学医学部を中心とした早期胃 がん検診の実施に対する協力。 53年度は、専門家派遣教材供与、カ ウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 6名 教材(1冊) 当初計画 派越分() 新規分(55,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 3名																	1名 × 6月 (X線技術) 6名 × 6月 (内視鏡(2) X線技術(3) 病理学(1)) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在欠任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>6</td><td>1</td><td>3</td><td>4</td> </tr> </table> 3名 × 3月 (X線技術、内視鏡、病理学)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在欠任者数 (A)+(B)-(C)	人数	6	1	3	4
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在欠任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	6	1	3	4																								
(ブラジル) ホルトアレグレカトリック大学 成人病研究所 ① 協定期間 49.1 ~ 51.12 52.1 ~ 54.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 大 部 省 ④ 協力概要(第3年次) 成人病研究所の循環器、脳動脈、消 化器部門の疾患に対する協力。53年 度は、巡回指導、専門家派遣、教材供 与、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 1名 教材(1冊) 当初計画 派越分(0) 新規分(11,000) 研修員受入 高級(準高級) 2名 一般 3名																	3名 × 22日 (巡回指導) 1名 × 1.5月 (疫学) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在欠任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td> </tr> </table> 2名 × 1月 1名 × 3月 / 1名 × 6月 (成人病対策) 1名 × 7月 (成人病対策)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在欠任者数 (A)+(B)-(C)	人数	1	0	1	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在欠任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	1	0	1	0																								

● 実施協議 △ 派遣請求 ○ 船積 × 現地滞在

(保健医療協力事業—統計)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 詳 単								
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3										
(ボリウエア) 消化器疾患研究対策 ① 協定期間 52.4 ~ 55.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ボリウエア国厚生省 ④ 協力概要(第2年次) 早期胃癌を中心とした消化器疾患 対策に対する協力 53年度は、巡回指導派遣、専門家派 遣、機材供与、カウンターパート受入 札を行う。	新益田派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 10名 機材(+H) 当初計画 繰越分() 新規分(79,000) 研修員受入 一般 7名					8/5	8/26								3名×22日(ボリウエア、ブラジル巡回指導) 1名×12月(内科学)、1名×10月(歯科学)、1名×12月(医療アドバ イザー)、1名×10月(×検疫所) 4名×6月(感染症)、2名×3月(×救急病)、1名×1月(消化器)、1名×1月(×検疫所) 1名×3月(外科学)、1名×1月(外科学)								
	専門家派遣状況(短、長期)													<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	5	5	4
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	5	5	4	6																			
1名×3月(内科) 1名×3月(外科) 2名×11月(消化器) 1名×9月(消化器) 2名×6月(消化器)																							
(パラグアイ) らい対策 ① 協定期間 (R/D 未定名) ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 パラグアイ国厚生省 ④ 協力概要 パラグアイ国のサブカイ、ライ療養 所を中心としたらい病対策に対する協 力 53年度は、専門家派遣、カウンタ ーパート受入札を行う。	新益田派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 2名 機材(+H) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級 一般 1名													1名×12月(らい病)									
	専門家派遣状況(短、長期)													<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	1	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	1	0	0	1																			
1名×6月(らい病)																							

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
(パラグアイ) 保健省 ① 協定期間 ② 予算項目 保健医療協力員 ③ 相手国受入機関 アスンシオン国立大学病院 ④ 協力概要 特別教材 本邦、教材は同国アスンシオン国立 大学病院に対して供与されるもので あり、同国当該地域で多くみられる 消化器系疾患とりわけがん対策を推 進するうえで大いに寄与するものと 期待される。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 教材(十冊) 当初計画 繰越分(6,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般																専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在兼任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在兼任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在兼任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																							
(アルゼンティン) 健康管理システム強化 ① 協定期間 52.4 ~ 52.3 ② 予算項目 保健医療協力員 ③ 相手国受入機関 アルゼンティン国厚生省 ④ 協力概要(第2年次) 日会共済会診療所に係る疾病の予防 治療、衛生管理等地域住民の保健向上 のための健康管理システムの強化に対 する協力。 53年度は、専門家派遣、教材供与、 カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 5名 教材(十冊) 当初計画 繰越分() 新規分(52,000) 研修員受入 高級(準高級) 1名 一般 3名																2名×1月(教材提供) 1名×1月(臨床指導) 1名×10日(臨床指導) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在兼任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </table> 1名×14日(視察) 1名×6月(保健システム)、1名×6月(内視鏡)、1名×6月(シ ステムエンジニア)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在兼任者数 (A)+(B)-(C)	人数	2	0	2	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在兼任者数 (A)+(B)-(C)																							
人数	2	0	2	0																							

(保健医療協力事業 - 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(リベリア) 医療協力特別費 ① 協定期間 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力概要(第1年次) リベリア国政府は、現在医療体制の基盤整備を怠っており、特に本作域材供手は救急医療体制の充実に資するものである。	調査団派遣														専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																					
① 協定期間 昭和55年11月4日から5年間 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力概要(第2年次) インドネシア国の保健医療体制充実のため、看護研修の養成に協力する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 0 教材(十冊) 当初計画 繰越分(0) 新規分(0) 研修員受入 高級(洋高級) 0 一般 0													4名 x 14日(決定協議) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																					

(保健医療協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実施												予定			分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
(ネパール) ビル病院 ①協定期間 ②予算科目 保健医療協力費 ③相手国受入機関 保健省 ④協力概要 特別機材 ビル病院は同国における最大の病院 である。本件機材は同病院の老衰の充 実に資するものである。	調査団派遣																専門医派遣状況(短、長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	0	0	0	0																							
専門医派遣 長期 短期 機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分(25,000)																											
(タイ) 看護教育 ①協定期間 未定(R/D未署名) ②予算科目 保健医療協力費 ③相手国受入機関 公衆衛生省 ④協力概要(第2年次) タイ国の保健医療体制充実のため育 護指(夫等の養成に協力する。 53年度は、事前調査結果により実地 協定チームを派遣する。	調査団派遣																4人 x 20日(実地協議) 9日 x 1 22日 x 1 23日 x 1 20日 x 1 (看護行政、看護教育、看護施設、看護協力)										
	専門医派遣 長期 0名 短期 4名 機材(4円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(0)																										
	研修員受入 高級(準高級) 0 一般 0																										

(保健医療協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名概要	協力内容	実 績												予 定			分 野 年												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1	2	3													
(イ) 地域保健活動向上計画 ① 協定期間 5/4 ~ 5/3 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 タイ国公衆衛生省 ④ 協力概要(第3年次) モデル地区を設定し、一般、二級保健所、県立病院の保健機能を充実させる。また関連する中央機関の機能を充実させることに協力する。5/3年次は計画打合せ派遣、専門家派遣、研修員受入、カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣																		3名×15日(計画打合せ) 1名×12月(チームリーダー)、1名×12月(生物學)、1名×10月(ウイルス学)、1名×11月(細菌学)、1名×12月(看護員)、1名×7月(食品衛生)、1名×1月(衛生昆虫)、1名×3月(ウイルス学)										
	専門家派遣 長期 7名 短期 1名 教材(4冊) 当初計画 繰越分() 新規分 機材費(53,000) 賃料費(22,724) 研修員受入 高級(研修員) 2名 一般 8名																				専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>継続(A)</th><th>新規(B)</th><th>帰国(C)</th><th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td><td>4</td><td>3</td><td>1</td><td>6</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	4	3
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																									
人数	4	3	1	6																									
(アルジェリア) オラン科学技術大学医療センター ① 協定期間 53/4/1 ~ 58/2/31 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力概要(第1年次) オラン科学技術大学医療センターに対して主として、眼科、小児血液学分野の協力。5/3年次は、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣																		1名×1月(疫学、視察)、1名×1月(衛生昆虫、視察) 1名×11月(統計分析)、1名×5月(疫学)、1名×5月(医師)、1名×5月(ウイルス学)、3名×5月(地域保健)、1名×6月(細菌)										
	専門家派遣 長期 3名 短期 2名 教材(4冊) 当初計画 繰越分(0) 新規分(49,000) 研修員受入 高級(研修員) 1名 一般 2名																				専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>継続(A)</th><th>新規(B)</th><th>帰国(C)</th><th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	3
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																									
人数	0	3	0	3																									

(保健医療協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										手 数			介 野 界										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(エジプト) 看護教育研究 ① 協定期間 53, 4, 1 ~ 58, 3, 31 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力年度(第2年次) エジプト国保健省に対する医療協力 53年度は、専門家派遣、研修供与、 カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 研修 3名 研修(4回) 当初計画 繰越分(0) 新規分(10,000) 研修員受入 高級(準高級) 5名 一般 0名														3人 x 3ヶ月(看護教育 / 公衆衛生看護 / 視覚教育 /) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>派遣(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 職員事情把握 5		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																					
(大森民間) 型ハワロ病院救急センター ① 協定期間 未定(R/D未署名) ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 未定 ④ 協力年度(第1年次) 53年度は、事前調査チームを派遣 し、その報告に基づき、実地調査チ ムを派遣する。	調査員派遣 専門家派遣 長期 0 短期 0 研修(4回) 当初計画(0) 繰越分(0) 研修員受入 高級(準高級) 0 一般 0													5人 x 14日(半期) 4人 x 20日(実地) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>派遣(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0	
	派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																					

(保健医療協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 時 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(大 韓 民 国) 中央大学保健医療センター ① 協定期間 52.10～54.9 ② 予算項目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 科学技術省 ④ 協力概要(第4年次) 本センターの業務調査、研究及び栄 誉性疾患臨床研究に対し協力する。 53年度は、専門家派遣、視察供与、 カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 9名 機 材(十円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(8,000) 研修員受入 高級(半高級) 一般 3名														1人×15日(脂肪代謝)、1人×1ヶ月(蛋白質代謝)、5人×10日 (既付借付)、1人×8日、1人×10日(既付借付) 専門家派遣状況(短、長期)											
																		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在又は過去 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在又は過去 (A)+(B)-(C)	人数	0	2
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在又は過去 (A)+(B)-(C)																						
人数	0	2	2	0																						
(スリ・ランカ) スリ・ランカ大学ペラテニアオニ教育病院 ① 協定期間 ② 予算項目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省、高等教育省 ④ 協力概要(第1年次) 53年度は、技術協力の形態、規模 等につき検討のため、事前調査チーム を派遣する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機 材(十円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(半高級) 一般														4名×14日(事前派遣) 専門家派遣状況(短、長期)											
																		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在又は過去 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在又は過去 (A)+(B)-(C)	人数	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在又は過去 (A)+(B)-(C)																						
人数	0	0	0	0																						

(保健医療協力事業 誌五)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(ネパール) 西部地域公衆衛生対策 ① 協定期間 48.10～56.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第6年度) 公衆衛生の向上並びに住民の生活 向上に努め協力する。 53年度は、専門家派遣、研修機 材の提供、カウンターパート受入 入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 3名 機材(4冊) 当初計画 繰越分() 新規分(30,000) 研修員受入 高級(準高級) 1名 一般 3名															4名×12月(公衆衛生、臨床検査(2))×研修機 3名×2週間(公衆衛生(2)、臨床検査) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>従従(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> 1名(従従) 3名×3月(公衆衛生、臨床検査、X線技術)		従従(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	3	5	4	4
			従従(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	3	5	4	4																						
(フィリピン) 家族計画 ① 協定期間 49～53 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第5年度) 情報、教育、広報活動及び母子保健 分野への協力による家族計画の普及へ 協力する。 53年度は、巡回指導チームの派遣と 研修機材の提供を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0名 短期 0名 機材(4冊) 当初計画 繰越分(0) 新規分 一般 (25,000) 特別 (32,000)															3名×11日(巡回指導) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>従従(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 一般機材 特別機材		従従(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			従従(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																						

● 現地研修 △ 派遣済み ○ 総額 × 現地担当

(保健医療協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	年度										予定			分野	単										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(タイ) 家族計画 ① 協定期間 49.4 ~ 54.3 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力年度 (第5年度) 情報、教育、広報活動及び母子保健分野への協力による家族計画の普及へ協力する。 53年度は、巡回指導、チームの旅送と機材供与を行う。	巡回団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 0 機材 (+14) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 一般 (30,000) 特別 (48,000) 研修員受入 高級 (半額) 0 一般 0											3人 x 9日 (巡回指導)			専門家派遣状況 (短、長期)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在欠任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在欠任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在欠任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																						
(タイ) 国立ガンセンター ① 協定期間 52.4 ~ 55.3 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 公衆衛生省 ④ 協力年度 (第2年度) 日本の国立ガンセンターをモデルとして、タイ国立ガンセンターの設立及び内部機能の充実に協力する。 53年度は、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	巡回団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 3名 機材 (+14) 当初計画 繰越分 () 新規分 (13,000) 研修員受入 一般 6名											6人 x 15日 (巡回指導、指導員)			専門家派遣状況 (短、長期)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在欠任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在欠任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	3	3	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在欠任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	3	3	0																						

(保健医療協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定	分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(インドネシア) 北スマトラ地域保健対策 (1) 協定期間 53.4.1 ~ 59.3.31 (2) 予算科目 保健医療協力費 (3) 相手国受入機関 保健省 (4) 協力概要 北スマトラ地域に対する公衆衛生対策の向上に協力する。 53年度は、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	衛生国派遣 専門家派遣 長期 2名 短期 4名 機材(4所) 当初計画 繰越分() 新規分(37,400) 10,000 (黄砂費) 研修員受入 一般 5名															衛生分規学(1名×3ヶ月)、疫学(1名×6ヶ月) 保健衛生統計(1名×6ヶ月)、衛生学(1名×5ヶ月マラリヤ班(1名×5ヶ月)、公衆衛生(1名×1ヶ月) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>既 定(A)</th> <th>新 規(B)</th> <th>帰 国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> 公衆衛生(1名×2週間、1名×3週間)、臨床検定(1名×1ヶ月)、衛生学(1名×3ヶ月)、保健衛生(1名×2年)		既 定(A)	新 規(B)	帰 国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人 数	0	2	0	2
			既 定(A)	新 規(B)	帰 国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																				
人 数	0	2	0	2																						
(バングラデシュ) 家族計画 (1) 協定期間 51.3. ~ 56.3 (2) 予算科目 保健医療協力費 (3) 相手国受入機関 保健家族計画省 (4) 協力概要(第3年次) ダッカ近郊の特定地域における効果的 な家族計画の確立に対する協力、53年 度は、専門家派遣、機材供与、カウンタ ーパート受入れを行う。	衛生国派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 4名 機材(4所) 当初計画 繰越分() 新規分(24,000) 特別(32,000) 研修員受入 高級(半高級) 1名 一般 3名															助産婦、保健看護(1名×6ヶ月)、助産婦、保健看護(1名×9ヶ月)、保健看護(12ヶ月)、公衆衛生(1名×11ヶ月) 公衆衛生(1名×3ヶ月)、計画・調査(1名×2.5ヶ月)、家族計画指導(2名×1ヶ月) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>既 定(A)</th> <th>新 規(B)</th> <th>帰 国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> 保健医療、家族計画指導(1名×0.5ヶ月) 家族計画(1名×1.5ヶ月、2名×2ヶ月)		既 定(A)	新 規(B)	帰 国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人 数	2	3	3	2
			既 定(A)	新 規(B)	帰 国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																				
人 数	2	3	3	2																						

●実地協議 △派遣請求 ○船積 ×現地到着

(保健医療協力事業—一覽—)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
(フィリピン) 住血吸虫症研究対策 ① 協定期間 47～52, 53, 4～56, 3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力費等(第7年次) 住血吸虫症撲滅のための基礎研究 (殺虫剤の開発、免疫学的診断法の研究、治療薬の研究開発等)に対する協力。53年度は、専門家派遣、教材提供、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣																1名×8月(蒸餾水) 1名×12月(衛生出学) 1名×1月(衛生出学) 1名×2週間(衛生出学) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在任用者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)	人 数	3	0	2	1
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)																						
人 数	3	0	2	1																							
専門家派遣 長期 2名 短期 2名 教材(十冊) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 平高級 1名 一般 1名																1名×7週間(衛生出学) 1名×3月(衛生出学)											
(アフガニスタン) 疟疾対策 ① 協定期間 49, 4, 1～54, 3, 3/1 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 厚生省 ④ 協力費等(第5年次) アフガニスタン国の結核対策指導に資する協力。53年度は、エバリュエーションの旅、専門家派遣、教材提供、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣																3人×20日(エバリュエーション) 1人×12月(臨床研修) 1人×12月(結核対策) 1人×3月(結核対策) 3人×7月(X線指導) 1人×1月(公衆衛生1, 教材調査2) 1人×1月(結核対策1) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在任用者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)	人 数	4	4	6	2
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)																						
人 数	4	4	6	2																							
専門家派遣 長期 4名 短期 4名 教材(十冊) 当初計画 繰越分(32,000) 新規分(71,000) 研修員受入 一般 3名																3人×6月(X線1, 結核対策2)											

(保衛部編成計画 記述)

(国名) プロジェクト名 取組	協力の内容	実績												予定			分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1	2	3	経費(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)							
(エフアドル) 微生物病研究対策 ① 協定期間 52.4 ~ 57.3 ② 予算項目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 公衆衛生省 ④ 協力概要(第2年度) 微生物学を中心とした熱帯病疫患に 関する研究に対する協力 53年度は、専門家派遣、機材供与、 カウンターパート受入れを行う。	湖歪田派遣																						2人×12月(絶滅率) (電子機器の保守) 1人×12月(疫学)				
	専門家派遣 長期 3名 短期 3名																						2人×30日(視察旅行) 1人×6月(ウイルス学) 1人×15日(針灸治療)				
(グァテマラ) オシコセルカ症研究対策 ① 協定期間 50.10 ~ 55.10 ② 予算項目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 厚生省国立マラリア撲滅機関 ④ 協力概要(第4年度) 中南部に流行する寄生虫病オシコセルカ症を媒介虫コントロールによりその蔓延防止対策を確立せんとするものである。 5年間を準備、実施期間に分け、前期に媒介虫の生態研究と薬剤散布の全体計画、後半に薬剤散布と化学療法の実施を行う。53年度は、エバアリエーション派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	湖歪田派遣																						5名×15日(エヴァリエーション)				
	専門家派遣 長期 13名 短期 8名																						1名×12月(リーダー、総務)、1名×12月(調査員) 1名×12月(疫学)、3名×12月(寄生虫)、 6名×12月(医師)、 1名×3月(疫学)、1名×3月(皮膚科)、2名×3月(疫学) 1名×3月(寄生虫)、1名×3月(疫学)、1名×1週(寄生虫) 1名×6月(疫学)				
	機材(4冊) 当初計画 経費分() 新規分(32,000)																							経費(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数
	研修員受入 (半高野) 1名 一般 2名																						1人×15日(視察) 1人×1年(ウイルス) 1人×6ヶ月(疫学)	8	10	9	9

7. 農林業開発協力事業

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(インドネシア) (スリランカ) 農林業開発 ① 協定期間 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 前年国費入返額 インドネシア農林省、スリランカ農林省 ④ 協力年度(第 年次) 農林業協力予算枠拡大に伴って拡大する 範囲に対応してその開発手法を調査研 究し、新しいタイプの協力事業に適用 していくこととするため、53年度は、 実施要綱適合性について調査する。 (対象国変更)	調査国派遣															派遣回数 4名 19日間 (11/27~12/15) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>派遣(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																						
⑤ 専門家派遣 長期 短期 既 計 (+既) 当初計画 () 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 尚 派 (平高派) 一 般																										
(インドネシア) 協力調査調査に関する調査 ① 協定期間 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 前年国費入返額 ④ 協力年度(第 年次) 調査調査調査は、農林業協力事業が 新たな分野に拡大する範囲に対応して その開発手法を調査研究し、新しいタ イプの協力事業に適用していくことと する。53年度は、協力調査の調査 手法について調査する。 (対象国変更)	調査国派遣														派遣調査 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>派遣(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> (注) 内 管 派 農林業調査員		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0	
		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																						
⑤ 専門家派遣 長期 短期 既 計 (+既) 当初計画 () 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 尚 派 (平高派) 一 般																										

(見込不明協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等							
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
(コロンビア) 農林開発 ① 協定期間 未定 ② 予算費目 農林系協力費 ③ 相手国受入機関 Ministry of Agriculture ④ 協力規程(第1年次) コロンビアにおける茶の生産技術理 の伝播、肥料試験等の応用研究を行う とともに、普及員の訓練への協力、53 年度は、事前調査団を派遣する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(十円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 寄附(準備費) 一般												←		事前調査 5名 4/23 ~ 2/10 14日間予定 専門家派遣状況(長・短期)									
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在存在数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>																継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在存在数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在存在数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																				
(インドネシア) 中堅技術者養成 ① 協定期間 53.8 ~ 57.7 ② 予算費目 農林系協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力規程(第1年次) 農林普及員の養成訓練を目的とし、 助言、指導及び地域訓練センターを設 立、拡充するための協力。 53年度は、実施協議及び計画、打 合せチームの派遣、機材供与を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(十円) 当初計画 繰越分() 新規分(29000) 研修員受入 寄附(準備費) 一般														実施協議計画打合せ(未定) 専門家派遣状況(長・短期)									
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在存在数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>																継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在存在数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在存在数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																				

□ 実施機材 △ 寄附品 ○ 機材 × 現地売上

(長年継続協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	年度												予定					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	分野					
(インドネシア) リモートセンシング技術開発 ① 協定期間 ② 予算費目 受取協力費 ③ 相手国受入機関 公共事業省 ④ 協力税母(第1年次) リモートセンシング技術を利用して インドネシア国のスラウェシ、カリマ ンダン、スマトラにおける森林資源の 調査を行い、土地分類、土地利用状況 調査地の分析を行う。	調査団派遣 5名、12日 専門家派遣 名 長期 短期 研修員受入 高 級(中高級) 一 般																	11/27 ~ 12/8 (12日間) 事前調査 実地協議(未定) 専門家派遣状況(短・長期)	継続(A) 新規(B) 帰国(C) 既に存在する数 (A)+(B)-(C)
		人数	0	0	0	0	0												
(タイ) カセサート大学 ① 協定期間 未定 ② 予算費目 受取協力費 ③ 相手国受入機関 D, T, E, C. ④ 協力税母(第1年次) カセサート大学施設の整備状況及び 研究者及び分野への継続協力、53年度 は、研究、普及の専門員及び技術者の つき、実地内容の確認、協力方向性 の事前調査を行う。	調査団派遣 7人、18日間 専門家派遣 長期 短期 長期調査員 2名 研修員受入 高 級(中高級) 一 般																事前調査 7/5 ~ 7/22 18日間 専門家派遣状況(短・長期)	継続(A) 新規(B) 帰国(C) 既に存在する数 (A)+(B)-(C)	
		人数	0	0	0	0	0												

(森林関係協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	年度												予定				分析									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1	2	3											
(イ) 国立産学科学研究所 ①協定期間 昭和53年2月中旬より2週間 ②予算費目 森林関係協力費 ③相手国受入機関 農林・協同組合省・農林省 ④協力概要(第1年次) 産学コントロールの基礎的研究と実 践的価値を各試験場及び農家へ実証す る。53年度は事前調査として相手国 家の施設、研究技術協力と研究者養成 協力の可能性を検討。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(4台) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般																										
		事前調査																									
専門家派遣状況(短・長期)																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>派遣(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A+B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>																			派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A+B)-(C)	人数	0	0	0	0
	派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A+B)-(C)																							
人数	0	0	0	0																							
(シリア) ヌスネ試験農場 ①協定期間 ②予算費目 農林関係協力費 ③相手国受入機関 ユーフラテス・ダム省 ④協力概要(第1年次) 河川によるユーフラテス河川流域ヌ スネ地区灌漑プロジェクトの有効利用 を図るため試験農場を設置し、農作物 の栽培及び灌漑技術を研究開発し、普 及を図る協力。53年度は、事前、前 途チーム、長期調査派遣を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(4台) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般																										
		事前調査 3月中旬 16日間 5名																									
専門家派遣状況(短・長期)																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>派遣(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A+B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>																			派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A+B)-(C)	人数	0	0	0	0
	派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A+B)-(C)																							
人数	0	0	0	0																							

(農林業関係協力事業一覽表)

(国名) プロジェクト名等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
(パラグアイ) イタミア林業開発普及 (1) 協定期間 (2) 予算費目 農林業協力費 (3) 相手国受入機関 (4) 協力概要(第2年次) 森林の適正利用開拓及び更新の技術普及を目的とし、イタミア県の入植者へ林業、牧畜普及のための技術開発及び訓練への協力。53年度は、実施協賛及び長期研修員の派遣を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 1名 長期研修員 2名 研修員受入 高級(非高専) 1名 一般 2名					←→								←→	実施協賛、計画打合せ 林業開発計画 専門家派遣状況(短・長期)
	研修員受入 高級(非高専) 1 一般 2	研修員受入 高級(非高専) 1 一般 2													←→
(パラグアイ) テラロシア農業開発 (1) 協定期間 (2) 予算費目 農林業協力費 (3) 相手国受入機関 (4) 協力概要(第2年次) 地域農業の栽培体系及び機械化普及体系の確立を目的として、カピタンミランダ中央地域農業、試験場を中心に農業技術、肥料、給排水技術及び植栽技術等の指導訓練への協力。53年度は、実施協賛、長期研修員の派遣を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期研修員 2名 研修員受入 高級(非高専) 2名 一般 2名					←→								←→	実施協賛 協力企画調査 農業開発計画 専門家派遣状況(短・長期)
	研修員受入 高級(非高専) 2 一般 2	研修員受入 高級(非高専) 2 一般 2													←→

実施協賛 調査研究 研修 現地指導

(農林技術協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(バングラデシュ) 農業普及 ① 協力期間 (延長) 1 50.3.14~53.10.13 (R/D) 2 53.10.13~58.10.12 (協定) ② 予算費目 農林省協力費 ③ 相手国受入機関 農林省、中央農業普及技術開発研究 ④ 協力費率 (第4年次) 中央農業普及技術開発研究所における農業普及のための方法及び技術的資料の開発(2)農業技術実用化試験(3)普及資料作成のための普及普及技術担当官の派遣(4)普及実用材(5)カワソ)の製造、運送に協力す。53年度は、巡回指導の派遣、専門家を派遣、資料提供、カウンターパート受入れを行う。	調査派遣 専門家を派遣 長期 8 短期 5 資料(4冊) 当初計画 繰越分() 新規分(62,000) 研修員受入 個別 2名 集団 5名															計画打合せ(繰越) 園長、普及、かんがい技術、農業機械、栽培、農業機械化、園芸、調整 各1名 財政担当、生活改善、農村整備 計5名 1名 1名 専門家を派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>繰越(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> </table> 視察 2名 園芸管理 1名 車道整備 1名 農業普及 1名 かんがい技術 1名、野菜栽培 1名 農業機械化 1名、稲作普及 1名		繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	8	5	5	8
			繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																				
人数	8	5	5	8																						
(バングラデシュ) 園芸研究 ① 協力期間 52.11.3~55.11.2 (R/D) ② 予算費目 農林省協力費 ③ 相手国受入機関 農林省 ④ 協力費率 (第2年次) 園芸研究センター及び3サブセンターでの (1)かんきつ改良のための基礎研究及び園芸施設試験(2)野菜種子増産のための基礎研究及び 圃場適応試験(3)同前同園芸場に対する巡回指導に対する協力。53年度は、巡回指導の派遣、専門家を派遣、資料提供、カウンターパート受入れを行う。	調査派遣 専門家を派遣 5名 長期 3 短期 2 資料(4冊) 当初計画 繰越分() 新規分(51,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 2名														計画打合せ 3名 13日間 園長、調整、要町 3名 野菜モデルインフラ 2名 専門家を派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>繰越(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </table> 野菜及び果樹 各2名		繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	5	0	5	
	繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																						
人数	0	5	0	5																						

(農林省協同協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等															
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																	
(インドネシア) 農業研究 ① 協力期間(延長) ① 45.10.23~53.10.22(協定) ② 53.10.23~58.10.22(R/D) ② 予算項目 農林省協力費 ③ 相手国受入機関 農林省 ④ 協力概要(第8年次) 同国水ゴール市にあるインドネシア中央農 業研究所において、技術体系を研究する豆類 及び他の食用作物(米、トウモロコシ、根菜 作物)に関する育種、栽培、水管理、病害防 除等に対する協力。53年度は、巡回指導、エ バリュエーションの派遣、専門家派遣、機材供 供互、カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣				① 7/6												① エバリュ エーション リーダー 1名 ② 巡回指導 (新陽取組) ウィルス 1名 昆虫分隊/名、野鳥分隊/名、植物検疫/名、植物ウイルス/名 植物生理/名、炭疽菌/名、昆虫(巻土等) /名 機械器具(アミ目2名)、機材器具 2名 専門家派遣状況(短・長期)													
	専門家派遣 長期 3 短期 9																	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>派遣(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> </table>		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	3	6	7	2		
		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																									
	人数	3	6	7	2																									
機材(千円) 当初計画 繰越分(55,000) 新規分(51,000)																	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>派遣(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> </table>			派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	3	6	7	2		
	派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																										
人数	3	6	7	2																										
研修員受入 高級(洋高級) 1名 一般 4名																		1名 作物/、病理/、生理/、害虫/名												
(インドネシア) ランポン農業開発 ① 協力期間(延長) ① 47.11.14~52.11.13(協定) ② 52.11.14~55.11.13() ② 予算項目 農林省協力費 ③ 相手国受入機関 農林省 ④ 協力概要(第7年次) 農林省受センターでの農業技術の改善、音 楽の訓練・訓練・助言等を行い、また、中 部ランポンでの普及展場での改良種作技術の普 及、受託地域の育成活動等に、中部、南部 ランポン州での畑作改良、栽培技術の普及、 普及組織の育成活動に対する協力。53年度 は、巡回指導の派遣、専門家派遣、機材供互 カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣																巡回指導 5名×20日 リーダー2名(7/8以上の機材リ-合) 業務調査 5/30、4/9 1名、農林省技/名、普及計画/名 農林省技/名 栽培/名、病理管理/名、土肥肥料/名 専門家派遣状況(短・長期)													
	専門家派遣 長期 7 短期 1																			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>派遣(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> </table>		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	8	0	0	8
		派遣(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																									
	人数	8	0	0	8																									
機材(千円) 当初計画 繰越分(99,860) 新規分(82,000)																	農林省技 2名 野鳥分隊/名、植物検疫/名、農林省技/名、農林省技/名 機材器具/名、機材器具/名													
研修員受入 準高級 2名 一般 6名																		機材器具/名、機材器具/名												

(森林資源協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			介 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(インドネシア) 森林開発 ① 協力期間 51.3.28~53.2.28 (R/D) 53.2.28~58.2.27 (協定) ② 予算科目 森林開発協力費 ③ 相手国受入機関 農林省林業局 ④ 協力年度(第3年度) 森林センター及びサブセンターを設置し、 協定国森林機関の設立並びに技術者の指導、 訓練に協力する。53年度は、巡回指導の派 遣・専門家派遣・機材供与、カウンターパ ート受入れを行う。	調査団派遣															巡回指導 3名×13日 (タイ養蚕と同時) リーダー(技術リーダー含) 2名 技術員、栽培2名、養蚕員1名、養蚕機具1名、病害虫防除1名 調整1名、1/25、以降栽培は1名、6分科6名の予定 冷蔵庫つえつけ2名、給水施設1名、モデルインフラ1名 専門家派遣状況(短・長期)									
	専門家派遣 長期 7名 短期 4名 機材(4機) 当初計画 総額分(58,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般																<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	4	7
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	4	7	5	6																					
(インドネシア) 南スラウエシ農業開発 1 協力期間 51.12.25~54.6.24 (R/D) 2 予算科目 森林開発協力費 3 相手国受入機関 農林省官房計画局 4 協力年度(第3年度) 南スラウエシ州地域農業に関する調査及び 分析、同地域農業開発基本計画の検討及び 助言、上記計画の部門別農業開発計画の策定 上記計画策定における実施計画の策定及び計 画作成担当者への能力向上のための訓練に協力 する。 53年度は、巡回指導、エバリュエーション の派遣、専門家派遣、機材供与、カウンタ ーパート受入れを行う。	調査団派遣															① 巡回指導 ② エバリュエーション アドバイザー1名、チームリーダー1名、書記1名、農業経済1名 米初調査1名 各々54、6月中旬まで滞在 水質調査1名、園芸(みかん)1名、水産(エビ養殖)1名、造林1名、 草地改良1名、流通計画1名、地下水1名、土壌①2名、地域計画 ①1名、地域計画②1名 専門家派遣状況(短・長期)									
	専門家派遣 長期 5 短期 12 機材(4機) 当初計画 総額分(-) 新規分(11,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般																<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	6	10
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	6	10	9	7																					

(農林業関係協力事業 - 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(インドネシア) ボゴール農科大学農産加工 ① 協力期間 52. 10. 14 ~ 54. 10. 13 (R/D) ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 教育文化省、ボゴール農科大学 ④ 協力概要(第2年次) 同大学農産工学、農産加工等部に農産加工 パイロット・プラントを設置し教授、学生、 技術学校の教職員(農産加工(分)分野)向け の技術の向上への協力。53年度は、巡回指 導の派遣・専門家派遣・視察供与、カウンタ ーパート受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 3 短期 2 機 材(千円) 当初計画 繰越分(-) 新規分(51,000) 研修員受入 一 般 7名														巡回指導 計 4名 リーダー 1名、パイロットプラント運営 1名、調整 1名 足袋設計 1名、設備設計 1名 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在々任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </table> (プラント運営) 1名 (茶、精米、包装) 1名 農産加工施設 1名 4名 農産加工		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	5	2	3	
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)																				
人 数	0	5	2	3																						
(大 韓 民 国) 農業研究 ① 協力期間 49. 6. 7 ~ 54. 6. 6 (協定) ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農水産部 農村振興庁 ④ 協力概要(第5年次) 米産物及び農産物の研究に資するため、 本邦 畜産作物及び野菜の研究に資する協 力。53年度は、エバリュエーションの派遣 専門家派遣、視察供与及びカウンターパート の受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 1 短期 10 機 材(千円) 当初計画 繰越分(-) 新規分(51,600) 研修員受入 高 級(連高級) 5名 一 般 12名															エバリュエーション リーダー 1名 牧場化田植 2名、麦類生理生態 1名、水稲品種育成 1名、播種と耐病害 虫 1名、土壌肥料 1名、土壌保全 1名、水稲病害生理 1名、除草剤 1名、 施設園芸 1名 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在々任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </table> 高級 3名 水稲冷成 1名、麦類生理 1名、地力増進 2名、施設園芸 1名 施設園芸 1名、麦類生理 1名 麦類育種 1名、麦類生態 1名、土壌保全 1名 水稲育種 1名、大豆育種 1名		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	2	4	2
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)																				
人 数	0	2	4	2																						

●実地協賛 ▲講義請求 ○派遣 X現地送替

(農林業関係協力事業 — 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
(マレーシア) 水管理訓練 ① 協力期間 52.9.3~52.9.2 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 馬來省 排水かんがい局 ④ 協力概要 (第2年次) ケランタン州コタバル市に水管理訓練センターを設置し、技術者を養成する。センター付属のデモンストレーションファーム1カ所(4.6ha)及び圃場に4カ所(各2.0ha)のパイロットファームを作りかんがい施設の展示に協力する。53年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、研修員受入、カウンターパート受入を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 5 短期 1 研修員受入 高級(準高級) 1 一般			←														① 計画打合せ ② 巡回指導 (先遣 1名) ③ (後遣 4名) リーダー、稲作栽培、かんがい技術、水管理、業務調整 施工管理、ポンプ駆付 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数(A)+(B)-(C) 人数 5 1 0 6
	研修員受入 高級(準高級) 1 一般																	
(ネパール) ジェナカプール農業内苑 ① 協力期間 48.11.26~49.11.6 (R/D) 49.11.7~54.11.8 (協定) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業省 ④ 協力概要 (第2年次) 農民の所得増進と生活水準向上を目的とし (1)ハルディナート普及農場(40ha)での改良農機具の導入、演示及び普及 (2)プロジェクトセンターの設置、運営 (3)深井戸かんがい地区(420ha)での土壌改良と集約農業の普及 (4)山間部地区での養蚕機具の設置と巡回指導及び開発計画の策定への協力。 53年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、研修員受入を行う。	調査団派遣 専門家派遣 15名 長期 12 短期 3 研修員受入 高級(準高級) 1 一般	←															① 巡回指導 ② 巡回指導 シニアアドバイザー、プロジェクトリーダー、園芸、養蚕、普及、業務調整、農機具、農場経営、栽培、かんがい 2名 建設設計、工務 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数(A)+(B)-(C) 人数 2 3 5 10	
	研修員受入 高級(準高級) 1 一般																	

●実施協賛 △派遣請求 ○船費 ×現地指導

(農林技術協力事業 - 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
(フィリピン) カガヤン農業開発 ① 協力期間 51. 2. 27 ~ 54. 3. 31 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業省 ④ 協力概要 (第 4 年次) カガヤン地域の基礎整備によってもたらされる果樹の二期作と農業の生産性向上を通じ、農業の近代化に貢献する。53年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、研修実施を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 5 短期 3 研修員受入 高級 (準高級) 一般												←→			巡回指導 (3名) ①アドバイザー ②栽培 ③農機具 ④普及 ⑤業務調整 計 5名 機械具 設計管理 計 2名	
		研修員受入 高級 (準高級) 一般															
(タイ) 養蚕開発 ① 協力期間 1 44. 3. 7 ~ 53. 3. 6 (R/D) 2 53. 3. 7 ~ 55. 3. 6 (D/R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農林部 蚕糸局 ④ 協力概要 (第 10 年次) 養蚕技術の開発、原蚕種の改良技術の改良訓練等を行う。タイ東北部にコラート養蚕訓練センターを設置する。併せて同センターで開発された蚕品種の増殖・農民の教育訓練を 4 サブセンターにおいて行うとともに 6 ~ 10 カ所のパイロット養蚕農家群を設け未開農家まで養蚕技術を普及する協力。 53 年度は専門家派遣、研修実施とカウンターパート受入を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 4 短期 2 研修員受入 高級 (準高級) 一般 5名											←→			巡回指導 (インドネシア養蚕技術員) リーダー 1名 蚕種製造 1名 機具 1名 添削 1名 計 4名 農機具修理 2名 専門家派遣状況 (短・長期) 継続 (A) 新規 (B) 帰国 (C) 現在々在者数 (A)+(B)-(C) 人数 6 0 2 4 8 月中旬以降 4名 合計 5名 農機 1名		
		研修員受入 高級 (準高級) 一般 5名															

●実地研修 △講習訓練 ○研修 X現地指導

(農林業開発協力事業 — 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(タイ) かんがい農業開発 ① 協力期間 52.4.8 ~ 52.4.7 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農林省 ④ 協力概要 (第2年次) タイの米生産の増大及び二期作地域の拡大 に貢献することを目的にチヤオピア及びメク ロン地区において国境区域の促進、農業生産 技術の改良及び普及並びに農民組織の発達強 化への協力。53年度は、巡回指導の派遣・ 専門化派遣・研修供与・カウンターパート受 入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 13 長期 1 短期 2 総 額 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (171,000) 研修員受入 高級 (準高級) 2名 一般 4名													←→	巡回指導 (マレーシア水管理と合同) (センター) (チヤオピア) リーダー・かんがい排水・農業経済調整 かんがい排水・園場整備 (チヤオピア) 1名 1名 1名 かんがい排水 1名 栽培 1名 園場整備 1名 (メクロン) かんがい排水・園場整備各 1名 (スランブリー) 栽培 1名 建築・施工管理各 1名 施工管理 1名 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続 (A)</td> <td>新規 (B)</td> <td>帰国 (C)</td> <td>現在々在人数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> </table>		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在々在人数 (A)+(B)-(C)	人数	6	7	1	12
			継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在々在人数 (A)+(B)-(C)																			
人数	6	7	1	12																					
														←	視察 2名 (兼田2名) 農地水資源開発 1名 かんがい排水 1名 個別 2名 (栽培普及 1名 水管理 1名)										
(アフガニスタン) 掘作用業 ① 協力期間 未 定 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業・土地改革省 ④ 協力概要 (第 年次)	調査団派遣 専門家派遣 0 長期 0 短期 0 総 額 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 高級 (準高級) 一般					8/4		10/4						←→	実施設計 {前半 8/4 ~ 8/30 6人 (第1次) 後半 9/21 ~ 10/4 中止 実施設計 三月上旬から1ヶ月 (第2次) 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続 (A)</td> <td>新規 (B)</td> <td>帰国 (C)</td> <td>現在々在人数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在々在人数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在々在人数 (A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					

●実施開始 △計画済 ○計画 X現地到着

〈農林関係協力事業 — 続き〉

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
(イラン) サボール農業研究 ① 協力期間 53.3.13 ~ 55.3.12 (R/D) ② 予算費目 農林関係協力費 ③ 相手国受入機関 農林関係研究調査局 ④ 協力概要 (第1年次) シスタン・バルクスタン州の乾燥地の農業 開発と農業の近代化を図るため、同地域の かんがい排水技術上の問題点とその対策を検討 するための、実用研究を主なテーマとするセ ンターを設置。これに対し当面2カ年の協力 を行う。 53年度は、専門家の派遣、巡回指導の派 遣、施設の供与などカウンターパートの受入 を行う。	調査田派遣 専門家派遣 長期 5 短期 0 機 材 (十円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (25,000) 研修員受入 高 級 1名 一 般 3名																巡回指導 3名 × 15日 リーダー (高橋英夫) 調整 (土土幹生) 栽培 (内山泰季) かんがい排水 (若杉守善) 土壌物理 (高橋清次) 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続 (A)</td><td>新規 (B)</td><td>帰国 (C)</td><td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td><td>0</td><td>5</td><td>0</td><td>5</td> </tr> </table> 単独現地調査 レザニア局長 個別 土壌: 水管理 各1名 時期未定 兼田 かんがい排水		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	5	0	5
			継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人 数	0	5	0	5																							
(タンザニア) キリマンジャロ農業開発 ① 協定期間 (延長) ① 49.12.2 ~ 53.3.30 (R/D) ② 53.9.13 ~ 57.9.12 (R/D) ② 予算費目 農林関係協力費 ③ 相手国受入機関 大蔵企画省 ④ 協力概要 (第5年次) キリマンジャロ州の農業開発のため、農業 開発センターを設置し、ロー・モシ地域農 業開発のための基礎整備に対するアドバイス 普及サービス活動を行うとともに、農業機械 サービスセンターにおいて機械の使用等 を指導する	調査田派遣 専門家派遣 / 長期 / 短期 0 機 材 (十円) 当初計画 繰越分 (-) 新規分 (-) 研修員受入 高 級 (準高級) 一 般																巡回指導 各2名 施設計画 1名 かんがい排水 1名 栽培 1名 <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続 (A)</td><td>新規 (B)</td><td>帰国 (C)</td><td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td> </tr> </table>		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	1	0	1	0
	継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																							
人 数	1	0	1	0																							

●実施施設 △講演請求 ○希望 ×現地調査

(森林系開発協力事業 — 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
(ブラジル) リベイラ川流域開発 ① 協力期間 50.3.10 ~ 補定年度の締結まで (R/O) 補定年度の以後5年間の協力を ② 予算科目 森林系協力費 ③ 相手国受入機関 サンパウロ州農務局 ④ 協力概要(第1年度) サンパウロ州リベイラ川流域の開発促進を 促進するため、適作物の選定等、実用試験 と普及の試験並びにこれら実施された技術 の普及等の施設を有する開発センターを設 置し、これに協力する。53年度は、巡回指導 の派遣、専門家派遣、教材供与及びカウン ターパート受入れを行う。	調査団派遣														←	→	巡回指導 5名 補定年度の発効年度まで リーダー テクニカルアドバイザー 計画調整員 栽培 農業経営 農業土木 専門家派遣状況(短・長期)	
	専門家派遣 長期 9																継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C)	
	献 材(千円) 当初計画 繰越分(51000) 一般財 新規分(8000) ポンプ																	人 数 6 3 2 7
	研修員受入 高級 1名 一般																	研修員受入 高級 1名 一般
(ブラジル) 農業研究 ① 協力期間 52.2.30 ~ 57.2.29 補定年度 ② 予算科目 森林系協力費 ③ 相手国受入機関 農務省ブラジル農業研究公社 ④ 協力概要(第2年度) セラード地域の農業開発に資するため同地 域の農業生産システム確立に必要試験研究 に協力する。53年度は、専門家派遣、教材 供与及びカウンターパート受入れを行う。	調査団派遣																巡回指導 5名 リーダー1名 植物病理1名 昆虫1名 作物栽培2名 土壌作物水分1名 園芸員1名 歩行1名 土壤1名 肥料肥料4名 専門家派遣状況(短・長期)	
	専門家派遣 長期 7 短期 6																	継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C)
	献 材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(22000)																	人 数 7 3 3 7
	研修員受入 高級(準高級) 一般																	高級 2名 3名 入選決定

●実施済 ▲派遣請求 ○給復 ×現地調査

(農林業関係協力事業 — 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
(ペルレー) 生産流通改善 ① 協定期間 ② 予算費目 産茶開発協力費 ③ 相手国受入機関 農林・食糧省 ④ 協力概要(第1年次) 生産と流通を円滑に結ぶシステムを確立す るため生産物と果出荷する農家の育成を図り 果出荷の直代に卸売市場の整備を行い 流 通の改善を図る協力。53年度は事前調査を 行ない生産流通事情の調査及びペルー政府の 意向確認を行う予定。	調査団派遣										←→				事前調査 コンタクトミッション 11/13~(17日間) 3名 再調査派遣調整(遊長崎) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 調整(合計) (A)+(B)-(C) 数 〇 〇 〇 〇
	専門家派遣 長期 短期														
	枝 荷 (千円) 当初計画														
	繰越分 () 新規分 ()														
(コスタリカ) 野茶研究	調査団派遣														事前調査 中止

○ 実施済 〇 調査済 〇 帰国 × 現地滞留

(農林業関係協力事業 — 続マ)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(ウルグアイ) 野菜研究 ① 協力期間 53. 2. 19 ~ 56. 7. 18 (R/O) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農林水産省 ④ 協力概要 (第1年次) ウルグアイにおける野菜の生産増大、品質 改善、周年栽培を目的として、野菜栽培技術 の改良のための研究を行う。53年度は、専 門家派遣、計画打合せチームの派遣及び栽培 の供与を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 4人 短期 4人 機材(千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (20,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般															計画打合せ (4人 x 20日) 野菜育苗、野菜栽培(2名)、連絡員 馬鈴薯ウイルス 馬鈴薯育苗種 植物病理、害虫 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> </table> 視察 1名 野菜生産 1名		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	8	0	8
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	8	0	8																						
(ビルマ) 畜産開発 ① 協定期間 53. 4. 12 ~ 57. 4. 11 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 畜産公社 ④ 協力概要 (第2年次) 畜産公社経営にかかわるランゲーン、ノマ イルの養豚場、養鶏場、飼料工場及び新設す る所産肉の訓練指導への協力。53年度は、 計画打合せチームの派遣、専門家派遣が供 与、カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 4 短期 1 機材(千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (75,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般															計画打合せ 養鶏 (熟手・ムリダー) 養豚 衛生 栄養飼料 各1名 短期 ケージ養豚、豚糞処理、糞処理 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	5	1	4
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	5	1	4																						

(農林水産省協力専門家 ← 廻き)

(画定) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
(インドネシア) 水産衛生 ① 協定期間 52. 2. 26 ~ 54. 2. 6 ② 予算費目 農林省協力費 ③ 相手国受入機関 農林省畜産総局 ④ 協力概要 (第2年次) スマトラ島・メダン及びランバンに無償協 力による畜産衛生センターを設立し、北・南 スマトラ地区の地域内での調査・診断、これ らに関する試験研究・技術者の訓練、ワクチ ンの試作等についての協力、55年度は 経 済協力の派遣、専門家派遣、技術決定、カウ ンターパート受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 6 短期 0 派遣 (十人) 当初計画 繰越分 (3,547) 新規分 (28,000)															巡回指導 (タイ系畜産衛生と合同) 寄生虫学 1名、微生物学 1名、疫学 1名 リーダー (微生物) 1名、微生物 (診断) 1名、疫学血清学 1名 { メダン畜産衛生センター 4名 { ランジュンカラ畜産衛生センター 2名 専門家派遣状況 (短・長期)
	研修員受入 高級 (准高級) 一般															

○ 実地協賛 △ 派遣協賛 ○ 研修 × 現地派遣

(農林業開発協力事業 - 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実績										予定			分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(タイ) 家畜衛生 ① 協定期間 52.3.2 ~ 55.3.1 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農林業協同組合 畜産課長局 ④ 協力概要 (第2年次) 家畜衛生水準の改善をはかるため (1) 畜産振興局に対する家畜衛生企画協力 (2) 家畜衛生センターを中心とする家畜疾病の診断調査、防疫 (3) 口蹄疫ワクチン大量製造技術の確立と口蹄疫の診断への協力。53年度は巡回指導の派遣専門家派遣、技術供与、カウンターパート受入れを行う。	調整回数 専門家派遣 長期 9 短期 6 機材 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (20,000) 研修員受入 高級 (準高級) 1 一般 1名														巡回指導 (インドネシア家畜衛生に合同)											
																	長期 (口蹄疫ワクチン製造 3 病室 (特等車) / 防疫官 / 疫学 / 口蹄疫診断 /) 短期アドバイザー / 口蹄疫診断 2 施設長 /) アルヒラ病診断 / 施設管理 / 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>繰越 (A)</td> <td>新規 (B)</td> <td>滞留 (C)</td> <td>現在存在者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> </table>		繰越 (A)	新規 (B)	滞留 (C)	現在存在者数 (A)+(B)-(C)	人数	8	5	5
	繰越 (A)	新規 (B)	滞留 (C)	現在存在者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	8	5	5	8																						
(タイ) タイとうもろこし産業開発 ① 協定期間 52.9.14 ~ 55.9.13 ② 予算費目 産林開発協力費 ③ 相手国受入機関 農業協同組合省 組合総長局 ④ 協力概要 (第2年次) 新産に用いる肥料調製、農機具修理、肥料調製、農産物管理研修等の業務を担い農産物育成支援を行い タイとうもろこしの生産性向上を助ける協力。53年度は、巡回指導チーム派遣及び技術供与、カウンターパート受入れを行う。	調整回数 専門家派遣 長期 5名 短期 5名 機材 (千円) 当初計画 28,722 繰越分 (4,705) 新規分 (28,017) 研修員受入 高級 (準高級) 2名 一般 1名														巡回指導											
																		(リーダー、技術、農機具、農機組立、調査) (ブレハフ冷蔵 2名、種子プラント検討 3名) 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>繰越 (A)</td> <td>新規 (B)</td> <td>滞留 (C)</td> <td>現在存在者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </table> (準高級 2名) (農機具 1名) (種子 2名)		繰越 (A)	新規 (B)	滞留 (C)	現在存在者数 (A)+(B)-(C)	人数	2	5
	繰越 (A)	新規 (B)	滞留 (C)	現在存在者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	2	5	2	5																						

(農林水産省協力事業 — 続き)

〈国名〉 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
<p>〈マダガスカル〉</p> <p>北部畜産開発</p> <p>① 協定期間 52.11.11 ~ 55.11.10</p> <p>② 予算費目 農林水協力費</p> <p>③ 相手国受入機関 地域開発・畜産政策局 高水産局</p> <p>④ 協力概要(第2年次) 同国北部のデ・エゴスワレス市近郊の畜産 所にて、(1) 家畜衛生の改善、(2) 畜産作物 の増産、(3) 家畜飼料の改善、(4) 技術者の 訓練に対する協力、53年度は、巡回指導の 派遣・専門家派遣・研修旅行及びカウンター パート受入れを行う。</p>	<p>調査員派遣</p> <p>専門家派遣 長期 4 短期 0</p> <p>研修旅行(4月) 当初計画 繰越分(5,172,280円) 新規分(97,000円)</p> <p>研修員受入 高級(準高級) 一般</p>														巡回指導									
														畜産、家畜、飼料、飼料作物										
														<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(4)</td> <td>新規(5)</td> <td>帰国(6)</td> <td>現在在任者数 (4)+(5)-(6)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> </table>		継続(4)	新規(5)	帰国(6)	現在在任者数 (4)+(5)-(6)	人 数	3	1	0	4
	継続(4)	新規(5)	帰国(6)	現在在任者数 (4)+(5)-(6)																				
人 数	3	1	0	4																				
														1名 未定										
<p>〔フィリピン バブアニューギニア タイ〕</p> <p>遊猟計画基準</p> <p>① 協定期間</p> <p>② 予算費目 農林水協力費</p> <p>③ 相手国受入機関</p> <p>④ 協力概要(第 1年次) 前年度作成調達は、農林水協力事業をよ り効果的に進めるため、計画策定又は設計に 必要で一定の基準を作成し、畜産専門家及び 調査団が計画を作成する際の指針をまとめよ うとするもので、53年度は、遊猟に関する 計画策定を作成する調査を行う。</p>	<p>調査員派遣</p> <p>専門家派遣 長期 短期</p> <p>研修旅行(4月) 当初計画 繰越分() 新規分()</p> <p>研修員受入 高級(準高級) 一般</p>														基礎調査									
														<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(4)</td> <td>新規(5)</td> <td>帰国(6)</td> <td>現在在任者数 (4)+(5)-(6)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(4)	新規(5)	帰国(6)	現在在任者数 (4)+(5)-(6)	人 数	0	0	0	0
	継続(4)	新規(5)	帰国(6)	現在在任者数 (4)+(5)-(6)																				
人 数	0	0	0	0																				
														専門家派遣状況(短・長期)										

● 現地派遣 ▲ 巡回派遣 ○ 帰国 / 現地滞在

(森林資源開発協力事業 — 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
(ビルマ) アラカン森林開発 ① 協定期間 52.10 ~ 57.3 ② 予算費目 森林系協力費 ③ 相手国受入機関 木材公社 ④ 協力概要 (第2年次) アラカン山系の森林開発に資するため、山 地系における伐出技術体系の確立を目的とし て (1)山地林産院技術協力センター (2) パイロット伐出センターを設立し、実地及び 研修管理業務等の実施、改良及び調整訓練へ の協力。53年度は 実施設計チームの派遣 専門家派遣、研修助手・カウンターパート受 入れを行う。	調査団派遣																実施設計 苗圃設置、業務調整、伐出、伐出計画、伐出実地(2) 伐出機械 森林系 森林修繕 専門家派遣状況 (短・長期)		
	専門家派遣 長期 短期																	継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人数 0 7 0 7	
	概 算 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (100,000)		△																
	研修員受入 高 級 (準高級) 1名 一 般 2名																		
(インドネシア) 山岳林収穫技術 ① 協定期間 52.10 ~ 57.3 ② 予算費目 森林系協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要 (第2年次) ジャワ島中部の山岳林の森林に資するため 伐出系技術の育成、訓練に協力する。53 年度は 実施設計 新設打合せ チームの派 遣、専門家派遣、研修助手、カウンターパー ト受入れを行う。	調査団派遣																実施設計 チームリーダー 伐出機械、業務調整、伐出実地、策定機械、トラクター乗取 専門家派遣状況 (短・長期)		
	専門家派遣 長期 7名 短期 0名																	継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人数 0 7 0 7	
	概 算 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (10,000)		△	△															
	研修員受入 高 級 (準高級) 一 般 4名																		

(農林業開発協力事業 --- 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			介 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(インドネシア) 南スマトラ森林造成 ① 協定期間 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第1年次) 森林造成の計画的作業・機械化作業につ いての政府の研修訓練への協力。今年度成 功前調査チームの派遣及びカウンターパート 受入れを行う。	調査員派遣															事前調査 専門系派遣状況(短・長期) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>撤回(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	撤回(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
		継続(A)	新規(B)	撤回(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																						
専門系派遣 長期 短期 機 関 (4所) 当初計画 () 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 高級(準高級) 一般 /名																										
(フィリピン) パンタバンガン森林造成 ① 協定期間(延長) 51.6 ~ 53.6 (R/D) (53.6 ~ 53.12) (54.1 ~ 54.6) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 森林開発庁 ④ 協力概要(第3年次)	調査員派遣		↔							↔						巡回指導 チーフアドバイザー 造林 治山、森林管理 治山 計 6名 チーフアドバイザー 造林 森林管理 計 4名 専門系派遣状況(短・長期) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>撤回(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	撤回(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	4	3	2	7
		継続(A)	新規(B)	撤回(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	4	3	2	7																						
専門系派遣 長期 6 短期 1 機 関 (4所) 当初計画 繰越分 () 新規分 (112,000) 研修員受入 高級(準高級) / 一般 5																										

(農林業開発協力事業 — 純き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
(ブラジル) 林業研究 1 協定期間 54.4.1 ~ 57.3.31 (R/O) 2 予算科目 農林業協力費 3 相手国受入機関 サンパウロ州森林院 4 協力概要 (第3年次) サンパウロ州地域の流域保全に対する森林 造成及び管理技術開発に関する協力。53年 度は、実施協議チームの派遣及びカウンター パート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 概 算 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 高級 (準高級) 一般 /名																実施協議 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続 (A)</td> <td>新規 (B)</td> <td>帰国 (C)</td> <td>現在々在者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在々在者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在々在者数 (A)+(B)-(C)																					
		人数	0	0	0	0																					
(インドネシア) 浅海養殖 ① 協定期間 R/O 53.2.30 ~ 57.3.31 ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要 (第1年次) ジャカルタ近郊のバンテンにおいて 魚貝 類養殖技術を確立する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 2 短期 0 概 算 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (5,000) 研修員受入 高級 (準高級) 一般																計画打合せ 魚貝類養殖 2名 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続 (A)</td> <td>新規 (B)</td> <td>帰国 (C)</td> <td>現在々在者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在々在者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在々在者数 (A)+(B)-(C)																					
		人数	0	0	0	0																					

● 実施協議 △ 派遣請求 ○ 帰国 × 現地滞在

(様式別開発協力単表 — 続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
〔スリランカ〕 高等水産講習所 ① 協定期間 (延長) 49. 4. 13 ~ 53. 4. 15 (52. 4. 14 ~ 55. 4. 14) 延長 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 漁業者 ④ 協力概要 (第4年次) 本講習所は、沖合、遠洋漁業を目的とした短期大学程度講習所であり、漁業科、機関科から成る。53年度は、計画打合せも派遣専門家派遣 教材提供、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣																計画打合せ	
	専門家派遣 9名 長期 7 短期 2																首席顧問、機関、航海 業務調査、漁務長、機関、漁具 冷蔵、冷凍、漁船	
	機材 (千円) 当初計画 (53,524) 繰越分 (13,584) 新規分 (210,000)																	専門家派遣状況 (短・長期)
	研修員受入 高級 (洋高級) 2																	継続 (A) 新規 (B) 帰国 (C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C)
																		人数 3 6 0 7
																	(注2)	
																	3週間 6ヶ月	
〔テュニジア〕 チュニジア国立漁業センター ① 協定期間 53. 7. 1 ~ 54. 4. 30 (R/O) ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要 (第3年次) チュニジア国立漁業再教育漁業科その他の教員の再教育訓練と漁業利用及び現行行われている沿岸漁業の改善指導を主たる目的とする。53年度は、専門家派遣を行う。	調査団派遣																首席顧問、まぐろ延縄、業務調査 トロール漁業 基河漁業	
	専門家派遣 5名 長期 5 短期 0																	専門家派遣状況 (短・長期)
	機材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (20,000) + 10,000 計 30,000																	継続 (A) 新規 (B) 帰国 (C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C)
	研修員受入 高級 (洋高級) 2																	人数 0 3 0 3
																		3週間

●実施協議 ▲派遣請求 ○船渡 ×現地基盤

(農村発展協力事業 — 続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(ミクロネシア) 漁業開発 ① 協定期間 53. 1. 28 ~ 54. 3. 31 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要 (第2年次) ミクロネシアのカツオ漁業開発に際して、 餌料魚増産の技術移転を行うため、技術指導 訓練及び漁船等の漁具供与に対し協力する。 53年度は、実施協議チーム派遣し、長期調 査員の派遣及び機材供与を行う。	調査団派遣 専門家派遣 12 長期 7 短期 5 機 材 (千円) 当初計画 繰越分 (25,232) 新規分 (0) 研修員受入 高級 (準高級) 一般 1名														実施協議 プロジェクトリーダー、漁師長 柳岡長、漁師 2名、主領、技術員計 7名 船長兼漁師長 かつお領事 漁船 1隻 (3名) 計 5名 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続 (A)</td> <td>新規 (B)</td> <td>帰国 (C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>12</td> </tr> </table>		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	7	0	3	12
		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
	人 数	7	0	3	12																				
	(チリ) 養 殖 ① 協定期間 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 狩猟水産局 ④ 協力概要 (第1年次) 魚類資源に恵まれたチリのサケ・マス養殖 に対する協力を中心として沿岸水域における 河川魚貝類の増殖促進の発展に協力する。 53年度においては上記に係る可能性等を調 査するための事前調査チームを派遣する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機 材 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 高級 (準高級) 一般													事前調査 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続 (A)</td> <td>新規 (B)</td> <td>帰国 (C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	0	0	0
		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人 数		0	0	0	0																				

● 実施協議 △ 順次調査 ○ 船積 × 現地調査

(農林技術協力事業 — 続き)

(国名) プロジェクト名 亦昇	協力内容	実 績												予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
(ベルギー) ベルギー産加工センター ① 協力期間 51.10.13 ~ 55.10.12 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 漁 業 省 ④ 協力概要 (第3年次) ベルギーの食品漁業開発政策に基づき、水産物加工技術の研究開発及び改善を行う。 53年からは、専門家派遣、機材供与、カウンセラー受入れを行う。	調査団派遣																植物園 缶詰 練乳 化学分析 微生物 冷凍機械 水産加工 業務調査 (8名) 冷凍、冷蔵機械 } 冷蔵庫格付 施設 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続 (A)</th> <th>新規 (B)</th> <th>帰国 (C)</th> <th>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人 数	8	3	1	11
		継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																						
	人 数	8	3	1	11																						
	専門家派遣 11名 長期 9名 短期 2名																										
機材 (4万) 当初計画				△																							
繰越分 (64,000) 新規分 (20,000)	△						○	○	×	×	×																
研修員受入 一 般 2名								△	△																		

8. 鉞工業開発協力事業

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
[インドネシア] 建設開発 ① 協定期間 R/D 53.2.17 ~ 57.2.18 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 公共事業電力局建設研究所 (DBR) 工業省資源研究所 (CRI) ④ 協力概要 地場資源と利用した建設開発に関する技術 移転と目的とした協力。 53年度は、実施協議及び長期調査員の派遣 カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣															7名 × 17日 (実施協議) 3名 × 1月 (パルプ、セメントボードに關する パイロットプラント設計及び修理工事調査) 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	-	-	-	-
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	-	-	-	-																						
⑤ 専門家派遣 長期調査員 1名 短期 2名 枚数 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 (準高級) 一般 2名																1名 2名 PCB ALA (1名 × 1月 (人工衛星資料提供観察) (1名 × 1月 (パルプ、セメントボード提供観察))										
[ネパール] 中小工業振興 ① 協定期間 R/D 未着名 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 工業指導センター (ISC) 又は家内工業局 ④ 協力概要 (第1年度) 小規模・家内工業振興のための技術協力と 実施する。対象業種は手すき和紙製造および 金属加工である。	調査員派遣															5名 × 21日 (事前調査) 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	-	-	-	-
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	-	-	-	-																						
⑤ 専門家派遣 長期 短期 枚数 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 高級 (準高級) 一般																										

(該工業開発協働事業 — 統一)

【 画 名 】 プロジェクト名称等	協 力 内 容	実 績												予 算			分 野										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
【 プロジェクト 】 パーティクル・ボード開発技術 ① 協定期間 52.3.18 ~ 55.3.30 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 林産物開発研究所 (FORPR/DECAM) ④ 協力観望 (第3年次) 地場資源の再生利用と隣り、建材、家具材 向のパーティクルボード工業化を目的とし た技術協力。 53年度は、専門家派遣、カウンターパート 受入に検討中と行なう。	調査用派遣 専門家派遣 長期調査 1名 短期 4名 1名 撥 款 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (63,000) (8,000) 研修員受入 (準高級) 1名 一 般 5名																										
1名 x 1月 (生産技術) 1名 x 3月 (品質管理) 1名 x 2日 (機械据付調整と、技術移転プログラム作成) 1名 x 3月 (機械据付) 1名 x 4日 (試験分析) 1名 x 15日 (機械据付)																											
専門家派遣状況 (短・長期)																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A) + (B) - (C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>																			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A) + (B) - (C)	人 数	/	—	—	/
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A) + (B) - (C)																							
人 数	/	—	—	/																							
1名 x 1月 (視察) 5名 x 5月 (パーティクルボード生産技術)																											
【 タ イ 】 天然ゴム品質改善 ① 協定期間 52.4.1 ~ 55.3.31 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 皮革組合ゴム研究所 (RRC) ④ 協力観望 (第2年次) 天然ゴム品質管理の促進、現場指導、人材 の養成等3技能を付与し、タイ国ゴム研究所 の指導体制を確立することにより天然ゴム産 業の振興に資する協力。 53年度は専門家派遣カウンターパート受 入を行なう。	調査用派遣 専門家派遣 長期 2名 短期 4名 1名 1名 1名 1名 撥 款 (千円) 当初計画 繰越分 (4,500) 新規分 (22,000) 研修員受入 高 級 (準高級) 一 般 6名																										
2名 x 12月 (品質管理) 2名 x 1月 (機械据付) 1名 x 3月 () 1名 x 1月 () 1名 x 1月 ()																											
専門家派遣状況 (短・長期)																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A) + (B) - (C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table>																			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A) + (B) - (C)	人 数	3	2	2	3
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A) + (B) - (C)																							
人 数	3	2	2	3																							
1名 x 12月 (応用化学) 4名 x 4月 (品質管理) 1名 x 2月 (電 気)																											

●実施開始 △要請請求 ○前設 ×現地赴任

(鉄工業関係協力事業 - 続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
〔タンザニア〕 中小工業育成 ① 協定期間 R/D 53.9.13 ~ 54.9.12 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 タンザニア州政府 (RDD) ④ 協力概要 キリマンジャロ州の中小工業を振興するため、技術導入、改良、普及、人材の養成という機能を持つ工業開発センターと設立、周辺プロジェクトとして指導所、展示場を建設する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 6名 技 術 (十用) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 高級 (準高級) 一般 0名														1名×0.75月(調整員) 2名×0.75月(金属加工、企画) 3名×1月(田長、機械、塗装) 専門家派遣状況(短・長期)		
													継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	
													人 数	0	3	3	0
〔ボリヴィア〕 亜鉛鉱物等回収開発技術協力 ① 協力期間 52.2.21 ~ 55.2.21 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 ボリビア鉱山公社 (COMIBOL) ④ 協力概要(第3年度) ボリヴィア共和国政府鉱山公社所有のコルキリ、ボリバル、之鉱山に対し採掘品位低石から錫、亜鉛、銀等の有価鉱物を有効回収する為の技術協力。53年度は専門家派遣、カウンターパートの受入れ、汚染選鉱機械類等の機材供与を行なう。	調査団派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 6名 技 術 (十用) 当初計画 繰越分 () 新規分 (60,288) 研修員受入 高級 (準高級) 一般 2名														4名×18日(巡回指導) 1名×4.5月(選 鉱) 1名×5.5月(機械設計) 1名×11月(選 鉱) 2名×1月() 2名×5.5月(機械、電気) 専門家派遣状況(短・長期)		
													継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	
													人 数	1	* 4	0	5
													※5定期5名				
													2名×5月(選鉱技術)				

● 現地協賛 ▲ 派遣請求 ○ 船員 × 現地派遣

(該工業関係事業 — 続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 者		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
〔ブラジル〕 鉄物質開発 ①協定期間 R/D 52.7.21 ~ 55.7.20 ②予算費目 産業開発協力費 ③相手国受入機関 鉱山動力開発局 (DNPM) ④協力概要 (第2年次) 国際非鉄金属開発計画を策定し、国内自給と目標す為、既得データの解析、開発の経済性の検討、鉱山開発計画立案等の分野での協力、53年度は専門家派遣、長期調査員派遣、カウンターパートの受入れを行う。	調査員派遣																3名×12月 (地質、地質探査及び物探) 3名×6月 (採鉱・鉱害防止及び鉄物処理研究開発) 2名×3月 (選鉱及び地質) 専門家派遣状況 (短・長期)
	専門家派遣 長期 5名 短期 概算 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修員受入 高級 (準高級) 2名 一般 2名								(3名)								
〔チリ〕 銅製鉄開発 ①協定期間 R/D 51.11.29 ~ 54.11.28 ②予算費目 産業開発協力費 ③相手国受入機関 中央鉱山冶金研究所 (CMM) ④協力概要 (第3年次) チリ共和国中央鉱山冶金研究所に対し、銅製鉄技術の研究開発、現場指導および人材養成、第3機能の付与し、同研究所のチリ銅産業に対する指導体制を確立することによってチリ銅産業の振興に資する技術協力、53年度は、巡回指導、カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣																5名×25日 (巡回指導) { 1名×6月 (選 鉄) 1名×1月 (分 析) 1名×1月 (電 鉄) 1名×0.5月 (品質管理) 3名×2.5月 (チーフ、分班、製鉄) 1名×2月 (品質管理)
	専門家派遣 長期 3名 短期 5名 概算 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (5,000) 研修員受入 高級 (準高級) 一般 3名											1名					

●実施協議 Δ新設請求 ○借渡 ×現地滞在

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
〔メキシコ〕 選抜・研修技術育成 ① 協定期間 R/D 未着目 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 固有財産産業振興協会の協賛(CFPI) ④ 協力概要 メキシコ固有財産振興の試行研究機関設立構 想を支援し、選抜・研修等の分野において技 術の導入と改良及び普及、人材の育成を通じ て育成・振興に寄与することと目的とした協 力。53年度は事前調査取組と行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 檢 査 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 () 研修費投入 高級 (準高級) 一般							←→							4名 × 30日 (事前調査) 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在及任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> 準高級 1名 × 3週間		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在及任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	—	—	—	—
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在及任者数 (A)+(B)-(C)																					
人 数	—	—	—	—																					
〔ペルー〕 鉱山保安技術育成 ① 協定期間 R/D 52.10.28 ~ 55.12.31 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 動力鉱山省、技術科学技術研究所 IN(ITEHI) ④ 協力概要 (第2年度) 基礎保安技術の移転、鉱山保安技術をビル トイン(た生産技術の協同等の技術協力。53 年度は専門家派遣、カウンターパートの受入 れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 4名 檢 査 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (4,940) 研修費投入 高級 (準高級) 1名 一般 2名							2名						2名 × 12月 (旭興、研修) 1名 × 11月 (鉱山保安) 1名 × 25月 (選 抜) 2名 × 1月 (じん肺) 2名 × 1月 (視 察) 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在及任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>2</td> <td>* 3</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> </table> ※うち2名は短期 1名 × 1月 (視察) 1名 × 9月 (保安計画) 1名 × 3月 (保安計画)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在及任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	2	* 3	—	3	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在及任者数 (A)+(B)-(C)																					
人 数	2	* 3	—	3																					

(鉄工業研究協会の事業——続き)

[国名] プロジェクト名称等	協力の内容	実 績										予 定			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
[マレーシア] 電気メッキ・センター ① 協定期間 5/10.5.2.11 ~ 5/2.2.10 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国収入概算 科学技術開発省標準工業研究所(SIRRI) ④ 協力親券 本センターは、即ち工業のうち基本分野と している電気メッキ、プレス、溶接の3業種 について、技術能力及び経営能力の向上と並 行して技術指導者の育成を目的とする。53 年度は実施協賛チームと派遣し、具体的協力 内容をつめ、専門家派遣協賛提供、カウンタ ーパート受け入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 3名 短期 4名 機 材 (千円) 当初計画 繰越分 () 新規分 (35,000) 30,000 計 65,000 研修員受入 高級(準高級) 2名 一般 2名															6名×18 (実施協賛) 1名×6月(メッキ) 2名×5月(チーフ、溶接) 4名×1月(チーフ、運搬、機械) 2名×1月(プラスチック成型、熱処理) 専門家派遣状況(短・長期)										
																			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>—</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	—
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	—	7	4	3																						
[フィリピン] フィリピン農業研究開発センター ① 協定期間 5/7.7.16 ~ 5/5.7.15 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国収入概算 国立科学技術開発所(NIST) ④ 協力親券(第3年度) 農業技術の移転と適応の人材の養成地場条 件の発展について技術協力をし、53年度 は、専門家派遣、機材提供、巡回指導チーム を派遣、カウンターパート受け入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 2名 短期 2名 機 材 (千円) 当初計画 繰越分 (1,500) 新規分 (52,000) 研修員受入 高級(準高級) 2名 一般 2名					1名										4名×17日(巡回指導) 1名×9月(巡回指導) 5名×12月(チーフ、現場調整、物理試験、生産技術、調整) 2名×11月 } 機材提供 2名×1月 2名×2月 1名×3月 専門家派遣状況(短・長期)										
																			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td><</td> <td><</td> <td><</td> <td>6</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	<
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	<	<	<	6																						

●実施協賛 △協賛請求 ○協賛 〻現地派遣

(独工業研究協力事業 — 続き)

〈国名〉 プロジェクト名称等	協力内容等	実 績										予 定			分 野 等		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
〈タイ〉 タイ、家具産業振興センター ① 協力期間 54.11.25 ~ 54.11.24 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 工業省工業指導所 (ISI) ④ 協力概要 (第3年次) タイ国の家具製造及び家具デザインの分野 について基礎的技術の習得、改善を通して人 材の養成と計るとともに技術の普及、指導を 行い、又家具製造の原材料の調査を行って 家具産業の振興に寄与する。53年度は、巡 回指導派遣、専門家派遣、機械供与、カウ ンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 5名 機 械 (千円) 当初計画 繰越分 (4,665) 前現分 (5,000)															木製加工 2名 材料試験 1名 デザイン 1名 4名×12月 4名×1月 (機械提供) 1名×5月 — 木材加工 専門家派遣状況 (短・長期)	
	研 修 員 受 入 高級 (準高級) 一般 3名																2名×12月 デザイン 木材加工 1名×11月 木材加工 1名×12月 プロジェクター 3名×12月
	繰越分 (4,665) 前現分 (5,000)																繰越(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人 数 4 — — 4
	繰越分 (4,665) 前現分 (5,000)																繰越(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人 数 4 — — 4
〈エジプト〉 織維研究開発 ① 協定期間 R/D 未署名 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 国立総合研究所織維部 ④ 協力概要 (第1年次) エジプト国の伝統的工業輸出商品である綿 花及び織物関係の織維産業育成に協力する。 53年度は、織維産業振興上の技術的課題を と把握し、国立総合研究所織維部門の調査の 実施、かかる拡充に関するマスタープランを 立案することとする。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 2名 機 械 (千円) 当初計画 繰越分 () 前現分 ()															5名×20日 (事前調査) 2名×3週間 (金型調整) 織維機械 専門家派遣状況 (短・長期)	
	研 修 員 受 入 高級 (準高級) 一般																繰越(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人 数 — 2 — —
	繰越分 () 前現分 ()																繰越(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人 数 — 2 — —
	繰越分 () 前現分 ()																繰越(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人 数 — 2 — —

(該工業研究協力事業 — 続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 呼 等									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
くイラク〕 イラク電気産業訓練センター ① 協定期間 53.2.7 ~ 53.2.6 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 工業省工業研究所(SOD) ④ 協力視察(第4年次) イラク国における(1)エレベーター、(2) 冷凍、空調機器、(3)一般電子機器の各工 スでの訓練によって電気産業の特定分野にお ける人材育成を図る。53年度は、専門家派遣 ・技術隊員、エバチーム派遣・カウンター パート受入れを行う。	調査団派遣													←	→	→	4名×30日 (計画合わせ)									
	専門家派遣																5名×25日 (エバリエーション)									
	長期 2名																1名×6月 (エレベーター)									
	短期 8名																1名×5月 (冷凍、空調)									
																	1名×3月 (チーフ、エレベーター)									
																	1名×5月 (一般電子)									
																	4名×2日 (機材届出)									
																	2名×1月 ()									
																	専門家派遣状況(短・長期)									
																	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在籍数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>4</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍数 (A)+(B)-(C)	人数	—	4	—
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍数 (A)+(B)-(C)																						
人数	—	4	—	4																						
	概算(千円)															(長)										
	当初計画			△												(短)										
	達成分 (38,940)			○		×																				
	達成分 (3,550)																									
	新規分 (20000)																									
	補修費受入																									
	高級(準高級)															準高級 1名×3週間										
	一般 7名															3名×7月 (空調、冷凍)										
																6名×12月 (一般電子)										

9. 青年海外協力隊事業

青年海外協力隊 昭和53年度 第1～3回半期事業実施状況及び第4回半期予定表

区分	月別												備 考
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 募集・広報	53/Ⅱ次隊募集(4/5~4/31)					54/Ⅰ次隊募集(10/5~10/30)							
2. 選考 (第一次地方選考) (第二次選考)				筆記試験 (7/16)	面接試験 (8/12~8/19)					筆記試験 (1/14)	面接試験 (2/12~2/19)		
3. 割 賦	(53/Ⅰ前期組) 灰尾 (4/1~5/31) 80名		代々木 (4/1~7/28) 80名		(53/Ⅰ後期組) 灰尾 (4/1~7/30) 86名	代々木 (8/1~9/30) 85名		(53/Ⅱ前期組) 灰尾 (10/1~11/30) 58名	代々木 (12/1~12/27) 57名	(53/Ⅱ後期組) 灰尾 (12/1~1/31) 84名	代々木 (2/1~3/24) 83名		
4. 派遣 (現地語学訓練) (海外協力活動)	←(約1ヶ月)→ 53/Ⅱ後期組(4/7~5/18) (任期2年)			←(約1ヶ月)→ 53/Ⅰ前期組(8/10~8/30) (任期2年)			←(約1ヶ月)→ 53/Ⅰ後期組(10/10~10/30) (任期2年)			←(約1ヶ月)→ 53/Ⅱ前期組(2/5~2/29) (任期2年)			
5. 隊員プロジェクト調査 (派遣前調査) (実施調査) (巡回指導)							通年事業						
6. 地方対策(事業実施)							通年事業						
7. 帰国隊員対策(帰国)	(53/Ⅱ後期組)				(53/Ⅰ前期組)		(53/Ⅰ後期組)			(53/Ⅱ前期組)			
(その他)	通年事業												
8. その他		(第12回) 5/8		53(前) 7/29 (第17回) 7/20		53/Ⅰ(後) 7/25		(第18回) 11/10		53(前) 1/2	(第19回) 2/6	53(後) 3/24 (第20回) 3/14	

割賦・4月/日開始
派遣・4月上旬

区分 派遣員	年間派遣数	実 績			予 定 第4回半期 派遣予定数	(C) 12月末迄の 当年度帰国者累計		12月末現在在任者数 (A+B)-(C)	備 考
		(A) 前年度よりの継続者	(B) 12月末迄の当年度 派遣者累計	小 計 (A+B)		12月末迄の 当年度帰国者累計	12月末現在在任者数 (A+B)-(C)		
(ア シ ア)									
1. ラオス	6	1	0	1	0	1	0	① 計上数は総員(U.N.V.含)及びシニアグループ(シニア隊員・調整員)である。 ② イラン・北・南イエメン・レソト・ネパール(1名)はU.N.V.である。	
2. フィリピン	92	65	27	92	4	22	70		
3. マレーシア	80	58	24	82	3	18	64		
4. インド	6	2	0	2	0	2	0		
5. ネパール	68	46	13	59	5	21	58		
6. バングラデシュ	62	43	16	59	3	16	43		
(オ ヒ ア ニ ア)									
1. 西サモア	25	18	1	19	3	6	13		
2. トンガ	9	4	0	4	2	1	3		
(中 近 東)									
1. モロッコ	38	20	8	28	2	6	22		
2. テュニジア	53	32	7	39	0	8	31		
3. シリア	43	16	13	29	2	3	26		
4. イラン	2	0	0	0	0	0	0		
5. 北イエメン	2	1	1	2	0	0	2		
6. 南イエメン	2	1	0	1	0	1	0		
(ア フ リ カ)									
1. ケニア	77	52	28	80	11	19	61		
2. タンザニア	49	26	11	37	5	12	25		
3. マラウイ	95	67	35	102	11	26	76		
4. ザンビア	68	38	16	54	3	13	41		
5. エチオピア	24	0	0	0	1	0	0		
6. ガーナ	34	12	19	31	0	0	31		
7. レソト	4	2	0	2	0	1	1		
(中 南 米)									
1. エルサルバドル	24	12	4	16	0	5	11		
2. コスタリカ	23	11	2	13	2	0	13		
3. ホンデュラス	17	8	16	24	3	2	22		
4. パラグアイ	19	3	5	8	0	0	8		
5. ボリビア	5	0	8	8	0	0	8		
計	916	538	254	792	60	183	609		

10. 人材養成確保事業

事業名	計画と概要	実績												予定			備考		
		業務の内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
人材養成確保事業	(1) 語学研修 個々の受講者の希望に応じ語学研修を行う。	4月～3月																	
	(2) 技術研修 専門家はその職務を遂行するに当たり、必要とされる技術の研究、調査研究、情報の収集等を行う。	4月～3月																	
	(3) 事前研修 すでに派遣先が決定した専門家に対し、派遣前1ヵ月間、語学、仕事情等の研修を行う。 (年間2回 1回26日間 25名程度)	1回～2回	4/29 1回	5/12 2	5/13 3	7/1 4	7/28 5	9/27 6	12/27 7	1/16 8	1/17 9	1/8 10	2/15 11	3/2 12					
	(4) 中期研修 (国内研修) 海外に派遣される可能性のある人達を対象に専門的技術、知識、語学等について研修を行う。 年間2回 { 1回 74日間 55名 2回 26日間 54名 計 109名	第1回 55名 社会開発コース 22名 農業一般コース 9名 総務農業土木コース 14名 プロジェクトリーダー 10名 第2回 54名 社会開発コース 19名 農業コース 11名 従事業コース 24名		5/22		9/3				7/18		12/2							

〈人材確保養成事業 — 続き〉

事業名	計画と概要	年度												予定			備考		
		業務の川岸	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
② 中期研修 (海外研修) 派遣前専門家中期研修の一環として国内研修修了者に対処 とし、別途上地域等において我が国で研修できない分野の 技術等について現地研修を行う。 研修場所：開発途上地域における教育機関研究開発等の施 設及び関連施設プロジェクト 研修期間：7ヵ月以上 研修人員：計26名	社会開発部門 (社会開発コース) 9名 農林業部門 (農林業一般コース) (農林プロジェクト リーダーコース) 7名 (林業コース) 鉱工業部門 (鉱工業コース) 8名															2/18	3/4	(社会開発コース後期)	
④ 国内長期技術研修 派遣前専門中等で、再派遣予定者に対し、専門技術能力の開発 及び向上を図るための研修を行う。 研修期間：3ヵ月以上1年以内 研修人員：2名	派遣事業部門 農林業部門 “ “ 医療部門 “ 社会開発部門																		
④ 海外長期研修 専門的、技術的素養の乏しい分野における専門家の養成、確 保を図る(実務的かつ指導的な専門家となるために海外の研究 機関等に派遣して高度な技術等を研修させる)。	社会開発部門 (5名) オランダ (53.8.27~55.8.2) アメリカ (53.8.27~55.8.26) アメリカ (53.10.9~55.10.8) アメリカ (53.12.27~55.12.26) カナダ (53.11.15~55.11.14)																		

(人材確保養成事業 — 続き)

事業名	計画と概要	実 績												予 定			考 考				
		業務の内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
(7) 特別派遣 派遣専門家、その他の者で再派遣を希望し、かつ、技術能力の優れた者とあらかじめ確保(プール)しておき、派遣要請に対処する。		農林業部門 (5名)																	連邦科学産業研究機構 カリフォルニア州立大学(乾燥地農業) ネバダ州立大学(乾燥地での土地利用) ユタ州立大学(乾燥地農業の被害防止) 国際ヒラシメ・小規模改良センター(加作) コロラド大学(附属経済学) イエール大学(開発行政学) ハーバード大学(開発行政学) ウェールズ大学(地域開発学) ヴァンダービルト大学(経済開発学) ワイスコンシン大学()		
		オーストラリア (53.8.2 ~ 55.7.31)						8/2													
		アメリカ (53.9.1 ~ 55.8.31)							9/1												
		アメリカ (53.9.6 ~ 55.7.5)								9/6											
		アメリカ (53.9.10 ~ 55.7.9)									9/10										
		メキシコ (53.11.27 ~ 54.11.26)											11/21								
		鉱工業部門 (5名)																			
		アメリカ (53.6.7 ~ 55.6.5)				4/7															
		アメリカ (53.7.1 ~ 55.6.30)						7/1													
		英国 (53.7.13 ~ 55.7.12)						7/8													
		アメリカ (53.8.21 ~ 55.6.30)								8/21											
		アメリカ (54.1.23 ~ 56.1.23)																			
		4月 ~ 3月																			

11. 開発協力事業

(国名) プロジェクト名称等	協カ内巻	実 績												予 定	分 野	等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(マレーシア) サバ州カカオ農業開発協力 ① 協定期間 ② 予算費目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 サバ州農業局 ④ 協力概要(第 年次) 産地振興に資するサバ州に適するココアの 生産開発とその加工等技術部門の開発によっ て経済の安定を図り生産から製造に至る技術 協力、53年度は基礎調査を実施する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機 材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高 級(準高級)								←							基礎二次調査 9/7 - 10/6 (30日間) 7名 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)+(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)+(C)	人 数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)+(C)																						
人 数	0	0	0	0																						
(フィリピン) 農業開発協力 ① 協定期間 ② 予算費目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第 年次) 森林保護地域の多目的利用開発の推進につ き、ミンダナオ島のカカマンテオロ、タベオ 地区を中心に「ひまわり」栽培の実態を把握し、 資料の収集等を行い、同島における協力活動 を促進し、開発協力事業の可能性を検討する 基礎一次調査を実施する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機 材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高 級(準高級) 一 般								←						基礎一次 11/23 - (16日間) 7名 12/2 - 12/17 (16日間) 8名 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)+(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)+(C)	人 数	0	0	0	0	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)+(C)																						
人 数	0	0	0	0																						

(開発協力事業 —— 続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
〔ウエトナム〕 ソンベイトウモロコシ開発協力 ① 協定期間 ② 予算費目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 農 業 省 ④ 協力概要(第 年次) 同地区は大半が、草園におかれ残りは雑 林地である。この中で約5500haの園芸 農場を造成し、残りは民間を主とするとう もろこし生産開発事業とする協力、53年度 は基礎一次調査を行なう。	調査団派遣 専門家派遣 長 期 短 期 機 材 (千円) 当初計画 繰越分(0) 新規分() 研修員受入 高 級(準高級) 一 般														基礎一次調査 8名 25日間									
専門家派遣状況(短・長期)																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)+(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>																継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)+(C)	人 数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)+(C)																				
人 数	0	0	0	0																				
〔インドネシア〕 南スマトラ森林造成開発協力 ① 協定期間 ② 予算費目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第 年次) 航空写真を用いた図化、解析、土壌調査及 び森林造成開発計画調査を行(約5000ha) のプランプラン草原の造林計画を決定する。 53年度は開発計画調査を行なう。	調査団派遣 専門家派遣 長 期 短 期 機 材 (千円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高 級(準高級) 一 般		←	←											開発計画調査(2次) (3次)									
専門家派遣状況(短・長期)																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)+(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>																継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)+(C)	人 数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)+(C)																				
人 数	0	0	0	0																				

● 実施済 〇 申請済 ○ 指 示 × 現地報告

国名) プロジェクト名称等	協力内容	実績										予定			分野等												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
【アルゼンチン】 大豆開発協力 ① 協定期間 ② 予算費目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第1年次) パンパ中央地区600万haの内、120万haを対象に輸出作物として民間企業による生産開発事業を実施する。大豆導入による地力向上、農家経営に寄与するとともに原料大豆としての輸出による外貨収入増加に資する協力。53年度は、基礎一次調査を実施する。	調査団派遣															←---→	基礎一次調査 4名 30日間 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(C)-(D)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(C)-(D)	人数	0	0	0	0
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(C)-(D)																						
	人数	0	0	0	0																						
	専門家派遣 長期 短期																										
機材(4月) 当初計画 繰越分() 新規分()																											
研修員受入 高級(準高級) 一般																											
【ブラジル】 アマゾン森林造成現地実証調査 ① 協定期間 ② 予算費目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 エンベローパ ④ 協力概要(第1年次) アマゾン地域の森林の取り壊し及び更新等に関する技術開発を行うためアマゾン地域に約1,000haの試験造林地を設定し、その運営試験及び試験分析を行う。 53年度は基礎一次調査及び計画打合せを行う。	調査団派遣			(A) ←												(B) →	(A)基礎一次調査 (B)計画打合せ (C)作業整理 2名(長期調査員) 2名() 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> (注) 派遣課 作業試験課		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
	人数	0	0	0	0																						
	専門家派遣 長期 短期																										
機材(4月) 当初計画 繰越分() 新規分()																											
研修員受入 高級(準高級) 一般																											

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
〔グアテマラ〕 林業開発協力 ① 協定期間 ② 予算費目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第 年度) グアテマラには5万ha余りの森林が存在しているが、構成樹種は非常に多様でありその利用価値についてはあまり知られていない。これらのいわゆる未利用樹種の利用開発を行うとともに森林の適切な更新を図る。また併せて民間企業を通じて技術及び資金の協力によりグアテマラ木材関連産業の振興に寄与するとともに地域開発に資する協力。53年度は基礎一次調査の実施を行う。	調査団派遣														基礎一次調査 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数(A)+(E)-(C) 人数 0 0 0 0
	専門家派遣 長期 短期														
	機 材(4回) 当初計画 繰越分() 新規分()														
	研修員受入 高級(準高級) 一般														
〔ニジェール〕 ニジェール共和国ウラン鉱山開発促進地区整備計画調査 ① 協定期間 ② 予算費目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要 ニジェール共和国ウラン鉱山地区におけるウラン鉱山開発に資する用水整備計画調査。併せて、当該整備事業が周辺地域住民の福祉向上に資することを目的とする。53年度「開発基礎調査団」を派遣する。	調査団派遣									1/2				4/7	開発基礎調査 8名 18% 12名 36% 17名 5% 30名 7% 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(E) 帰国(C) 現在在任者数(A)+(E)+(C) 人数
	専門家派遣 長期 短期														
	機 材(4回) 当初計画 繰越分() 新規分()														
	研修員受入 高級(準高級) 一般														

[国名] プロジェクト名等	協力内容	実 績												予 定			合 計 評 算										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	人	数												
[リベリア] ウォロギシ鉄鉱山開発関連インフラ ① 協定期間 ② 予算項目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 企画経済局 ④ 協力概要(第2年次) リベリア国北西部ウォロギシ地域の鉄鉱山 の鉄鉱石開発を中心とする開発プロジェクト のインフラ施設整備計画で周辺地域の地域開 発への協力、53年度は、開発基礎調査団を 派遣する。	調査団派遣	(6)		←5	→6			(6)	←5	→6							開発基礎調査										
	専門家派遣							(4)	←5	→6								開発基礎調査									
	長期 在 留																	専門家派遣状況(短・長期)									
	機 材(4回)																	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数(A)</th> <th>新規(E)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留者数 (A)+(E)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		総数(A)	新規(E)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(E)-(C)	人 数	0	0	0
	総数(A)	新規(E)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(E)-(C)																							
人 数	0	0	0	0																							

12. 移住事業

(1) 移住相談件数

地域	区分	第3四半期件数				今四半期末累計				備考
		新規相談	再相談	電話・手紙相談	計	新規相談	再相談	電話・手紙相談	計	
南	米	602	655	1,399	2,656	2,031	2,157	4,515	8,703	
北	米	551	204	682	1,437	1,778	588	2,316	4,682	
その他		628	249	840	1,717	1,730	514	2,681	4,925	
	計	1,781	1,108	2,921	5,810	5,539	3,259	9,512	18,310	

(2) 事業団扱移住者数

移住先国	区分	送出国 (年間)	第3四半期送出国				今四半期末累計				備考
			家族		単身	計	家族		単身	計	
			家族数	人数			家族数	人数			
ブラジル		562 ^人	18	60	56	116	29	93	91	184	
アルゼンチン		53	4	8	3	11	5	10	5	15	
パラグアイ		70	0	0	5	5	3	9	15	24	
ボリビア		15	0	0	2	2	4	15	4	19	
(小計)		(700)	22	68	66	134	41	127	115	242	
カナダ		400	1	4	8	12	5	14	18	32	} 適格通知書発給数
オーストラリア		300	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	1,400	23	72	74	146	46	141	133	274	

(移住事業——続き)

(3) 啓発活動実施件数(第3四半期)

種 類	対 象	移住 希望者	学 生 生 徒	一 般 住 民	関 係 者					計	今四半期 末累計
					市町村	学 校	職 安	農 協	その他		
説 明 会		5	5	21	2	5	7	20	4	69	145
座 談 会		2	3	1	0	2	0	0	9	17	35
講 演 会		1	11	3	0	0	0	1	1	17	56
映 画 会		0	64	7	1	3	0	0	0	75	115
展 示 会		0	58	30	0	4	0	0	0	92	138
相 談 会		58	0	52	0	0	0	0	0	110	314
研 究(修)会		53	5	2	1	9	1	0	3	74	261
計		119	146	116	4	23	8	21	17	454	1,064

(特記事項) 12月に「日本人の海外移住に関するシンポジウム」を東京において開催した。参加者は外国からの者も含め約200人であった。

(4) 移住者子弟研修生受入数

国 別	部門別 年次別	農 業 関 係	工 業 関 係	そ の 他	計	備 考
		8 回 生	8 回 生	8 回 生	8 回 生	
ブラジル		5	2	2	9	研修期間 8回生 53.4~54.9 * 7回生は9月末にて研修を 修了し、全員帰国した。
アルゼンティン		1	0	0	1	
パラグアイ		2	0	1	3	
ボリビア		3	1	0	4	
ドミニカ		0	0	0	0	
計		11	3	3	17	

(特記事項) 優良農家代表、4名(ブラジル2名、アルゼンティン1名、パラグアイ1名)を日本に招へいし、視察研修を行なわせると共に各地で講演会を実施した。

(5) 移住者訓練講習実施

訓練講習名	実施月	訓練講習期間	年間実施回数	実 績								予 定				
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(国内)			回													
農業移住研修生	1ヶ月	1	1	← 移住研究所 (25) →												
農業移住者短期講習	30日	10	10	← (4) →					← (7) →			← (12) →	上段	倍回何	何	海外移住セ
婦人移住者講習	60日	2	2	← (16) →						← (12) →			国際婦研	修センター		
工業移住者渡航前訓練	25日	6	6	← (27) →					← (20) →	← (8) →		← (4) →	← (9) →	海外移住セ		
短期移住者訓練講習	30日	2	2									← (17) →				海外移住セ
茶野訓練生渡航前訓練	13日	2	2						← (10) →						←	海外移住
茶野訓練生語学講習	6ヶ月	2	2	← (10) 茶野高等職業訓練校 →								横浜商	等職業訓	練状		
カナダ移住者訓練講習	30日	5	5	← (7) →						← (7) →				←	海外移住	センター
カナダ農業移住者訓練講習	30日	1	1											海外	移住研究所	←
オーストラリア移住者訓練講習	30日	5	5											海外	移住センター	
(海外)																
青年移住者訓練講習		6支部	6			← (12) サパウロ →			← (12) ブエノスアイレス →				← (6) ハレン・リン	フェ・ポルトアレ	クル	←
農業移住者適応研修	14日	5	5							サパウロ農業移住センター	← (6) →	←				
農業移住者独立前補完研修	14日	4	4						← (21) →				サパウロ農業	移住センター		←
技術移住者適応研修	15日	6	6			← (12) →				サパウロ工業移住センター	← (29) →	←				←
〃 補完研修	8日	3	3							サパウロ工業移住センター		←				←
〃 特別研修	4日	5	5							サパウロ工業移住センター	←	←				←
カナダ農業移住者現地研修	45日	1	1											カナダアルバータ		←
パラグアイ農村青年研修会	30日	1	1											←	パラグアイ農業	総合試験所
先進地農業研修	14日	1	1	← (8) アルゼンチンより →						← (2) ホリビアより →				サパウロ農業移住センター		

()内数字は受講者数

(6) 調査実施実績及び計画

件名	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
カナダ移住者動態調査					←			→ (オンタリオ州)						
農家経営調査					←	←	← (サンパウロ、ポルトアレグレ)	→ (フェリス、サンクルス、サトウ)					→ (ベレソ、リオ)	
市場調査								← (レシフェ、アスンシオン)				← (サンパウロ、アスンシオン)	→ (サンクルス)	サトウ、アスンシオン
雇用状況調査										← (ベレン、サンパウロ、フェリス)			→ (アリス)	
移住地適地調査				←	→ (サンパウロ)									マントグロ、ソウサ、アリアンソン地区
中小企業移住調査								← (サンパウロ)						
散在移住者実態調査												← (リオ、デ、ジ、ネイ、ロ、サン、パウロ、ポルトアレグレ)		
工業移住者実態調査									← (サンパウロ)					
アルゼンチン漁業調査									← (フェリスアリス)					
オーストラリア受入調査												←	→ (シドニー)	

(7) 専門家派遣数

派遣先	農業専門家		医師		指導教師		備考
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	
ブラジル		2		(1)			
アルゼンチン		1				1	
パラグアイ		2		2 + (2)		1	
ボリビア				1 + (2)		1	
ドミニカ						1	
その他							
計		5		3 + (5)		4	

医師欄()内は、現地採用医師

(8) 学識経験者等派遣数

派遣先	学識経験者		海外教育担当高校教師		学生実習生		備考
	派遣時期(期間)	人数	派遣時期(期間)	人数	派遣時期(期間)	人数	
ブラジル アルゼンチン パラグアイ ボリビア ドミニカ その他	6月(22日間)	7	7月(22日)	8	6月(1ヶ月) 8月(3ヶ月)	4	高校教師は、アメリカも含む。 ブラジル、パル、カナダ等
	11月(28日)10月(25日)	2					
計		9		8		4	

(9) 啓蒙普及指導業務

ア. 試験場運営

アマゾン熱帯農業総合試験場(ブラジル)、パラグアイ農業総合試験場(本場、分場)(パラグアイ)サンファン試験場、ヌエバエスペランサ試験場(以上、ボリビア)、アルゼンチン園芸センター(アルゼンチン)に嘱託専門家及び農業専門職員を派遣し、試験研究及び啓蒙指導業務を遂行している。

イ. 試験場職員配置状況

試験場名	派遣職員	農業専門家	現採職員	常備職員	計	備考
アマゾン熱帯農総試	6 (1)	2	1	6 (1)	15 (2)	()内数字は、管理部門 職員数 } 派遣職員は、管理業務を兼任
パラグアイ農総試(本場)	5 (1)	2	1	5 (1)	13 (2)	
〃 (分場)	0	0	3 (1)	3	6 (1)	
サンファン試験場	1	0	1 (1)	4 (1)	6 (2)	
ヌエバエスペランサ試験場	1	0	0	4	5	
アルゼンチン園芸センター	1	1	1	1	4	
計	14 (2)	5	7 (2)	23 (3)	49 (7)	

(1) 実施試験件数(第3四半期実施分)

試験場名	試験区分	畜産	養蚕	棚椒	マラクジヤ	カカオ	大豆	陸稲	棉	花卉	その他	備考
アマゾン熱帯農統試				14	1	2					3	その他はガバナ1件、マシヨカ1件、桃パム14件
パナマ農統試(本場)		2	3				1				5	その他は、スピア2件、土壌保全1件、小麦1件
〃(分場)							2				13	その他は小麦6、亜麻2、ナメタ、輪作1
サンファン試験場							2	3				
ヌバレスパレンサ試験場		3							1		1	その他はトウモロコシ
アルゼンチン園芸センター												未実施
計		5	3	14	1	2	5	3	1		22	

イ、在伯農業専門家派遣、伯国内農業専門家を各支部に派遣(営農普及指導にあたらせる。(派遣期間は1ヶ月)

派遣地区	対象作物	計画及び実績
ブラジル・ベレーン	マラクジヤ	11月に養鶏専門家を6日間派遣し、指導にあたらせた。家畜衛生、カカオの2件を予定、
	養鶏	
レシーフェ	バラ	花卉を予定
	グラジオラス	
ポルトアレグレ	カーネーション	花卉、桃の2件を予定
	果樹	
パナマイ・アスンシオン	牧畜	11月に農協関係専門家を2週向派遣し各農協担当者への指導を行わせた。大豆、小麦、養鶏の3件を予定
ボリビア・サンタクルス	棉	12月に棉作専門家を2週向にわたり派遣、指導した。養鶏、稲作、雑作の3件を予定
	米	
	養鶏	

ワ農協育成

国名	助成内容	計 画			実 績				
		資金補助	事務費等補助	講習会費補助	計	資金補助	事務費等補助	講習会費補助	計
ブラジル			2	3	5		2	3	5
アルゼンチン			1	2	3		1	2	3
パラグアイ		5			5	5			5
ポリビア		5			5	5			5
計		10	3	5	18	10	3	5	18

数字は助成対象組合数

工管農改善特別対策

国名	内 容	計 画		実 績
		地 区 名	内 容	
ポリビア		オキナワ移住地特別対策	綿収穫機2台を購入・貸与	綿収穫機2台を購入、貸与した。

才. 今四半期特記事項

(10) 医療衛生対策

ア. 診療所運営

国名	診療所名	人員配置		診療件数				
		医師	看護婦	内科	外科	産婦人科	その他	計
ブラジル	オストマス	1	3		未報	告		
パラグアイ	アルトパラナ	2	5	1,197	416	439	273	2,325
	フラム	1	3	663	163	131	438	1,395
	イグアス	1	3	561	356	33	127	1,077
ボリビア	サニファン	1	5	983	421	239	194	1,847
	オキアワ	2	5	382	111	58	44	595
	計	8	24					

診療件数欄第2. 四半期末累計

イ. 特約医配置: 直営診療所のない地区においてそれに代る現地医療機関に対し謝金を出す。

国名	計画	実績
ブラジル	20件	20件
アルゼンチン	3	3
パラグアイ	4	4
ボリビア	2	2
ドミニカ	1	1
計	30	30

ウ. 巡回診療

国名	地区名	計画	実績
ブラジル	ベレン	17回	17回
	レシーフェ	10	3 (バイナ市、管内北部)
	リオデ・ジ・ネイロ	4	
	サンパウロ	8	1 (南マツグロソ市)
	ポルトアレグレ	9	
パラグアイ	アスンシオン	2	1 (アマンバイ)
	計	50	2

エ 医師、看護婦育成（育英資金支給）

国名	医 師		看 護 婦	
	計 画	実 績	計 画	実 績
ブラジル	5	7	1	1
パラグアイ	6	4	3	3
ボリビア	6	6	4	4
計	17	17	8	8

オ、今回半期特記事項

(1) 教育対策

ア、育英助成（奨学金支給）

国名	小 学 生		中 学 生			高 校 生			大 学 生
	交 通 費	寄 宿 舎	月 謝	交 通 費	寄 宿 舎	月 謝	交 通 費	寄 宿 舎	
ブラジル	6(6)	4(4)	380(380)	190(190)	100(100)	95(95)	55(55)	48(48)	88(88)
アルゼンチン			15(15)		30(30)	10(10)		40(40)	24(24)
パラグアイ			20(20)	20(20)	40(40)	15(15)	5(5)	20(20)	15(15)
ボリビア			80(80)		20(20)	40(40)		20(20)	15(15)
ドミニカ			15(15)		15(15)	10(10)		10(10)	4(4)
メキシコ									(2)
ペルー									4(2)
計	6(6)	4(4)	510(510)	210(210)	205(205)	170(170)	60(60)	138(138)	150(150)

()内は計画数

イ. 社会教育助成

国名	助成内容	青年教育対象地区(人数)		婦人学級対象地区(人数)	
		計画	実績	計画	実績
ブラジル		13(722)		2(58)	
アルゼンチン		2(60)			
パラグアイ		4(900)		5(224)	
ボリビア		2(540)		4(172)	
ドミニカ		1(50)			
計		22(2,272)		11(454)	

エ. 今四半期特記事項

(12) 生活環境整備対策

ア. 生活改善普及指導関係

国名	巡回指導	治安謝金	自治体育成
ブラジル	地区	3 ^件	18 ^件
アルゼンチン		2	1
パラグアイ		45	3
ボリビア		12	2
ドミニカ			1
計		62	25

ウ. 現地教師謝金

国名	謝金区分	日語教師		現地学校教師	
		計画	実績	計画	実績
ブラジル		85件	85件	42件	42件
アルゼンチン		20	20	3	3
パラグアイ		30	30	11	11
ボリビア		10	10	40	40
ドミニカ		4	4		
カナダ		8	8		
計		157	157	96	96

イ. 今四半期特記事項

(13) 電化・道路対策

国名	移住地電化		道路対策	
	計画	実績	計画	実績
ブラジル	バルセアアレグレ移住地 ベラビスタ移住地	専業田補助分を交付済 クビテック移住地に変更検討中	第2トマス道路造成工事の年計画2年次 ポドラーD-8.ショバルローダ各1台購入	ポトラーD-81台にて購入、送付した。 クビテック1台を現地に購入した。
ボリビア			サンファン移住地道路整備5ヶ年計画 の4年次	盛土・ジャリ敷工事進行中、10月末現在 盛土8.6km、ジャリ敷2.5km終了
パラグアイ			フラム・チャバス道路改修5ヶ年 計画の年次	10月末現在盛土工事11.1km終了

(14) 入植区画(ロッテ)造成及び分譲

国名	移住地名	入植区画(ロッテ)造成数						入植区画(ロッテ)分譲数					
		年間計画		当期実績			当期末 累計	年間計画		当期実績			当期末 累計
		農耕地	市街地	農耕地	市街地	計		農耕地	市街地	農耕地	市街地	計	
ブラジル	第2トマス バルセア グアタパラ アウリベルデ	35		0		0	0	70		1		1	6
		5		0		0	0	29		0		0	2
			20		0	0	0		20		0	0	2
								10		0		0	3
アルゼンチン	ガルアペー アンデス ラ・プラタ							6		1		1	4
								11		0		0	1
								5		2		2	2
パラグアイ	イグアス アルトパラナ フラム	29	26	17	0	17	29	56	50	11	9	20	44
		70	33	41	1	42	63	137	45	5	1	6	26
									15		2	2	6
	計	139	79	58	1	59	86	324	130	20	12	32	96

(注) 当期とは、ブラジル、アルゼンチンは9～11月、パラグアイは8～10月である。

(15) 移住融資実績

(単位:千円)

国名	融 資 貸 付 額						融 資 回 収 額					
	年 間 計 画	当 期 実 績				当 期 末 累 計	年 間 計 画	当 期 実 績				当 期 末 累 計
		農 業 貸 付	工 業 貸 付	更 生 資 金 貸 付	計			農 業 貸 付	工 業 貸 付	更 生 資 金 貸 付	計	
ブラジル	931.500	105.142	9.217	384	114.743	490.020	375.740	34.230	1.302	179	35.711	119.065
アルゼンチン	75.200	17.307	861	508	18.676	58.510	22.170	4767	1.050	0	5.817	12.329
パラグアイ	462.500	56.383	0	443	56.826	169.306	236.400	47720	703	44	48.467	106.427
ボリビア	270.600	97.095	0	0	97.095	184.057	192.720	32.022	0	154	32.176	125.972
トミニカ	60.200	20.629	0	0	20.629	39.488	33.408	10.699	0	0	10.699	14.823
計	1,800.000	296.556	10.078	1,335	307.969	941.381	860.458	129,438	3,055	377	132,870	378,610

(注) 当期とは、9～11月である。但し、パラグアイは9～10月である。

13 無償資金協力事業 52年度案件

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
〔韓国〕 地域社会総合医学センター ① 協定期間 1977年9月29日 1978年9月30日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 地域社会総合医学センター ④ 協力概要 地域社会医学センター川医療機材 の供与	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 600,000	52	年度	1	期	継続	0	期	完了	E/A	期	完了					
〔フィリピン〕 全国水理研究センター ① 協定期間 1977年8月17日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 全国水理研究センター ④ 協力概要 全国水理研究センターの施設の建設	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 600,000	52	年度	1	期	継続							0	期	完了		E/A 期限

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	実績												予比	分野等					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
[インドネシア] 家畜衛生センター ① 協定期間 1977年8月13日 1978年11月30日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助債 ③ 相手国受入機関 農業省 畜産総局 ④ 協力概要 家畜衛生センターの設置	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 600,000	52	年度	より	継続															
[タイ] 東北タイ職業訓練センター ① 協定期間 1977年8月16日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助債 ③ 相手国受入機関 内務省労働局 ④ 協力概要 東北タイ技能開発学校設置	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 1,000,000	52	年度	より	継続															

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
〔ビルマ〕 生物医学研究センター ①協定期間 1977年7月12日 1979年3月31日 ②予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③相手国受入機関 保健省医学研究所 ④協力概要 生物医学研究センター設立	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 1,500,000	52	年度	より	継続													E/N 期限 完了予定
〔バングラデシュ〕 食糧倉庫 ①協定期間 1977年6月22日 1978年12月31日 ②予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③相手国受入機関 食糧省 ④協力概要 食糧倉庫の建設	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 1,150,000	52	年度	より	継続						○	完了 引渡し						E/N 期限(援助完了)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協カ内容	実 績										予 定			分 野 等		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
〔スリランカ〕 スリランカ大学附属教育病院 ① 協定期間 1977年7月12日 1979年3月31日 ② 予算項目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 保健相及び地方自治住宅建設相 ④ 協カ概要 スリランカ大学のためのパラデア教育病院の設置	施設建設等 総償資金協カ額 (千円) 1,100,000	52	年度	より	継続												〇 完了予定 E/N 期限
〔パキスタン〕 電気通信センター ① 協定期間 1977年7月30日 1979年3月31日 ② 予算項目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 通信省電信電話局 ④ 協カ概要 イスラマバード中央電気通信研究所の設置	施設建設等 総償資金協カ額 (千円) 1,200,000	52	年度	より	継続												〇 建物完了 E/N 期限

〔国名〕 プロジェクト名称等	協カ円器	実 績										予 定			分 野 等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
(アフガニスタン) 結核研究所カブール地域センター等 ① 協定期間 1977年9月21日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 公共衛生省 ④ 協カ概要 国立結核研究所及びカブール地域結核 センターの施設建設	施設建設等 無償資金協カ額 (千円) 750.000	52	年度	1	リ	継続								0	完工予定	E/N 期限
(スーダン) 稲作実験場 ① 協定期間 1977年8月24日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 農林省 ④ 協カ概要 ガザバ地区におけるパイロット農場の 設立	施設建設等 無償資金協カ額 (千円) 500.000													0	完工予定	E/N 期限

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
(ガーナ) ガーナ大学基礎医学研究所 ① 協定期間 1977年7月15日 1978年10月31日 ② 予算科目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 ガーナ大学 ④ 協力概要 ガーナ大学医学部基礎医学研究所(野口記念研究所)の設立	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 1,000,000	5	2	年度	1	9	継続	0	→	E/N 期限 (援助完了) 完工					
(ケニア) イタンガ地区水道建設 ① 協定期間 1977年10月21日 1979年3月31日 ② 予算科目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 水資源省 ④ 協力概要 イタンガ地区上水道建設	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 400,000	5	2	年度	1	9	継続							0 → 完工予定 E/N 期限	

〔国名〕 プロジェクト名称等	協 力 内 容	実 績										予 定			分 野 等		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
(ニジエール) 輸送カ整備計画 ① 協定期間 1977年9月8日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 食糧庁 ④ 協力概要 輸送カの拡充	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 500.000	52	年度	より	継続												E/N 期限(援助完了)
(パラグアイ) 職業訓練センター ① 協定期間 1977年10月26日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 文部省 ④ 協定概要 職業訓練センターの設立	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 800.000	52	年度	より	継続												E/N 期限 完工予定

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野	年			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
〔南アフリカ〕 漁業訓練船 ① 協定期間 1977年9月6日 1978年9月30日 ② 予算項目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 漁業省 ④ 協力概要 漁業訓練船の供与	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 450,000	52	年度	1	継続	0	引渡式												
〔コロンビア〕 漁業訓練センター ① 協定期間 1977年11月7日 1978年6月30日 ② 予算項目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 国立水産訓練所 ④ 協力概要 漁業訓練センターの設立	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 500,000	52	年度	1	継続	0	引渡式												

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
〔ボリビア〕 消化器疾患研究センター ① 協定期間 1977年10月11日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 社会保障保健省 ④ 協力概要 消化器疾患研究センターの設止	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 700.000	52	年度	より	継続												〇 完了予定 E/N 期限
〔インドネシア〕 国営アンタラ通信施設 ① 協定期間 1977年8月13日 1978年10月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 国営アンタラ通信社 ④ 協力概要 国内電気通信網の伝送	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 240.000	52	年度	より	継続												〇 船積完了 E/N 期限(後助完了)

[国名] プロジェクト名称等	動 力 内 容	実 績										予 定			分 野 等			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
[エクアドル] 漁業訓練船 ① 協定期間 1978年2月28日 1979年2月27日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 天然資源省 ④ 協力概要 漁業訓練船等の供与	施設建設等 総償還金勘当額 (千円) 500,000				52年4月	起工	11月	組立										

53年度案件

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定			分 野 等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
[韓国] 地域社会総合医学センター ① 協定期間 1978年8月18日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 地域社会総合医学センター ④ 協力概要 地域社会医学センター用医療棟の供与	施設建設等 無償貸付金協力額 (千円) 400,000					○ E/N 締結					○ 契約						○ 締結完了予定	E/N 期限
[ビルマ] 生物医学研究センター ① 協定期間 1978年8月25日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 生物医学研究センター ④ 協力概要 生物医学研究センター設立	施設建設等 無償貸付金協力額 (千円) 1,300,000					○ E/N 締結					○ 契約		○ 着工予定					E/N 期限

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												予 定	分 野 等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
〔オーストラリア〕 ハリス・ポスト及び西部地域衛生研究所 ① 協定期間 1978年8月27日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力概要 医療施設建設	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 550.000					○ E/A 締結					○ 契約		○ 着工予定	E/A 期限	
〔ガーナ〕 ガーナ大学基礎医学研究所 ① 協定期間 1978年9月4日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 ガーナ大学 ④ 協力概要 ガーナ大学医学部基礎医学研究所(野 訂施設研究所)の設立	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 1.000.000					○ E/A 締結					○ 着工			E/A 期限	

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
【マ リ】 輸送力増強計画 ① 協定期間 1978年7月17日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 道路交通施設公団 ④ 協力概要 輸送力の拡充	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 500,000					○ E/N 締結	○ 契約				○ 船積		○ 最終船積予定	E/N 期限	
【ルワンダ】 国営マツテ工場建設計画 ① 協定期間 1978年9月26日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 大蔵省 ④ 協力概要 国営マツテ工場建設計画	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 550,000						○ E/N 締結			○ 契約			○ 着工予定	E/N 期限	

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	実 績										予 定			分 野 等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
【ソロモン】 漁業振興計画 ① 協定期間 1978年7月7日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 天然資源省 ④ 協力概要 沿岸漁業振興センター設立等	施設建設等 総経費金協力額 (千円) 500,000				○ E/V 締結		○ 契約				○ 起工予定	○ 進水予定	○ 引渡予定	E/V 期限	
【西サモア】 漁業振興計画 ① 協定期間 1978年8月25日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 西サモア政府 ④ 協力概要 水産センター設立等	施設建設等 総経費金協力額 (千円) 400,000				○ E/V 締結	○ 契約					○ 着工予定			E/V 期限	

